鹿庭なほ子：溶出試験とバイオアベイラビリティ
日本薬学会第24回製剤セミナー（1999.7）

青柳伸男：放出制御製剤の設計と評価
第15回DDS学会（1999.7）

Aoyagi, N.: **Japanese Guidance on Bioavailability and Bioequivalence**
Bio-international 99 conference（1999.9）

鹿庭なほ子：品質再評価
第36回全国薬事指導協議会総会（1999.12）

青柳伸男, 森原元彦, 石井文由, 緒方宏泰：**in vitro** 溶出速度と生物学的同等性との関連—インドメタシン製剤
日本薬学会第120年会（2000.3）

石井文由, 緒方宏泰, 青柳伸男, 森原元彦, 青木茂, 毛利元昭, 渡邊純男：**in vitro** 溶出速度と生物学的同等性との関連—アセトアミノフェン製剤
日本薬学会第120年会（2000.3）

香取典子, 鹿庭なほ子, 青柳伸男, 小嶋茂雄：日本薬局方重量偏差試験の問題点および改善—製剤外皮の影響と消費者危険
日本薬学会第120年会（2000.3）

森原元彦, 青柳伸男, 香取典子, 鹿庭なほ子, 小嶋茂雄：パドル法の攪拌強度に与える測定条件の影響
日本薬学会第120年会（2000.3）

鹿庭なほ子, 尾島善：分析法バリデーション—精度評価実験の実験計画に関する考察
日本薬学会第120年会（2000.3）

吉岡澄江：医薬品の低温保存と安定性
第45回低温生物工学会セミナー（1999.5）

村勢則郎*, 堀江勝廣*, 類家正稔*, 梶原一人*, 吉岡澄江：デキストラン水溶液の凍結融解挙動
第45回低温生物工学会年会（1999.5）
*東京電機大学理工学部

吉岡澄江：DSC等の熱分析による医薬品の安定性評価
第42回熱測定講習会（1999.9）

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄：NMR緩和時間によって測定される非晶質医薬品の運動性と結晶化速度の関係
第38回NMR討論会（1999.10）

Izutsu, K., Kojima, S.: **Phase separation of protein and polymer excipients in frozen solutions.**
American Association of Pharmaceutical Scientists, 13th Annual Meeting（1999.11）

伊豆津健一, 小嶋茂雄：タンパク質と高分子添加剤の凍結濃縮による複数アモルファス相への分離と共存物質の影響
日本薬学会第120年会（2000.3）

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄：ニフェジピン-PVP固体

分散体の物理的安定性—DSCによる検討
日本薬学会第120年会（2000.3）

吉岡澄江：医薬品の品質保証を巡る新しい考え方—ブラケットティング&マトリキシング
日本薬学会第120年会シンポジウム（2000.3）

Yoshioka, S., Aso, Y. and Kojima, S.: **Molecular Mobility and Stability of Lyophilized Protein Formulations**
15th Annual Meeting of the Academy of Pharmaceutical Science and Technology, Japan, Joined by the Association de Pharmacie Galenique Industrielle（2000.4）

Aso, Y., Yoshioka S., Kojima S.: **Relationship between the crystallization rates of amorphous nifedipine, phenobarbital and flopropione, and molecular mobility as measured by enthalpy relaxation time and ¹H-NMR relaxation time.**
Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences（2000.4）

上堀雅由*, 熊木祐介*, 大江知行*, 宮原武恒*, 豊岡利正*, 中原雄二：ゾラム系向精神薬のHPLC-ESI/MSによる毛髪分析
第10回クロマトグラフィー科学会議記念大会（1999.10）
*静岡県立大薬学部

最所和宏, 中原雄二, 田中栄之介*¹, 仁平信*²：毛髪中のフェニトインとフェノバルビタールの抽出・分析法とラット毛髪への移行性について
日本薬学会第120年会（2000.3）
*¹筑波大・法医
*²日医大・法医

Scott, K.S., 中原雄二：毛髪中LSD代謝物2-Oxo-3hydroxy LSDの抽出法・分析法の検討
日本薬学会第120年会（2000.3）

上堀雅由*, 熊木祐介*, 大江知行*, 宮原武恒*, 豊岡利正*, 中原雄二：ゾラム系向精神薬のHPLC-ESI/MSによる毛髪分析
日本薬学会第120年会（2000.3）
*静岡県立大薬学部

Nakanishi, M.*¹, Mayumi, T.*², and Hayakawa, T.: **Development of Hybrid Vectors**
第5回遺伝子治療学会（1999.6）
*¹大阪大学微生物病研究所
*²大阪大学薬学部

Hayakawa, T.: **Japanese Perspective with Respect to Quality Control of Biotechnological/Biological Products**
Biologicals Beyond 2000（1999.9）

Hayakawa, T., Ohta, M., and Kawasaki, N.: **Current analytical procedures for glycosylation Biologicals Beyond 2000**（1999.9）

Hayakawa, T.: **Viral Safety Evaluation of Biotechnology Products Derived from Cell Lines of Human or Animal Origin: ICH Viral Safety Guideline, ICH and the Canadian Drug Regulatory System**（1999.11）

今津 進*, 林 和行*, 津田育弘*, 堤 康央*, 中川晋作*, 真弓忠範*, 早川堯夫: 膜融合リボソームの癌遺伝子免疫療法への応用
日本薬学会第120年会(2000.3)
*大阪大学薬学部

Hayakawa, T.: **Evaluation and Control of Biotechnology Products**
Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences (2000.4)

Yamagata, T.*¹, Tanaka, K.*¹, Hyuga, S., Watanabe, Y.*², Hyuga, M., Hatanaka, Y.*², and Yamagata, S.*¹: **Ganglioside GD1a controlling cell adhesion capacity by regulating integrins**
The 15th International Symposium on Glycoconjugates (1999.8)

*¹(財)日本皮革研究所

*²東京工業大学生命理工学部

小田泰雄*¹, 中山勝善*¹, 木下充弘*¹, 周 長林*¹, 川崎ナナ, 早川堯夫, 掛樋一晃*¹, Abdul-Rahman, B.*², Lee, Y. C.*²: **サフラン球根レクチン(Crucus sativus lectin)はN結合型糖鎖のコア構造を認識する**
第72回日本生化学会大会(1999.10)

*¹近畿大学薬学部

*²Department of Biology, Johns Hopkins University

橋本 統, 川崎ナナ, 杉野 弘*, 早川堯夫: **フォリスチン分子種によるアクチビン情報伝達阻害機構**
第72回日本生化学会大会(1999.10)

*徳島大学分子酵素学研究中心

田中啓友*¹, 日向須美子, 畑中保丸*², 畑中研一*², 日向昌司, 山形貞子*¹, 山形達也*¹: **IV型コラーゲンに対する細胞接着を制御するガングリオシド**
第72回日本生化学会大会(1999.10)

*¹(財)日本皮革研究所

*²東京工業大学生命理工学部

Oda, Y.*¹, Nakayama, K.*¹, Kinoshita, M.*¹, Kawasaki, N., Hayakawa, T., Kakehi, K.*¹, Abdul-Rahman B.*², and Lee, Y. C.*²: **Crocus sativus lectin recognizes (Man)3-GlcNAc in the N-glycan core structure**
Annual Conference of the Society for Glycobiology (1999.10)

*¹近畿大学薬学部

*²Department of Biology, Johns Hopkins University

日向須美子, 川崎ナナ, 日向昌司, 太田美矢子, 山形貞子*, 山形達也*, 早川堯夫: **ガングリオシドGD1aによるVEGF発現の抑制**

日本薬学会第120年会(2000.3)

* (財)日本皮革研究所

川崎ナナ, 太田美矢子, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **LC/MS及びLC/MS/MSを用いたエリスロポエチンN結合糖鎖の不均一性の解析**

日本薬学会第120年会(2000.3)

太田美矢子, 川崎ナナ, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: **糖タンパク質の糖ペプチドマッピングによる分析法としてのLC/MSの有用性**

日本薬学会第120年会(2000.3)

豊田淑江, 山口照英, 内田恵理子, 早川堯夫: **HL-60細胞の好中球分化におけるトランスフェリン受容体の発現の差異と分化・増殖能との関連について(第2報)**
第20回日本炎症学会(1999.7)

豊田淑江, 山口照英, 内田恵理子, 押澤 正, 早川堯夫: **トランスフェリン受容体(Trf-R)の発現の差異によるHL-60細胞の好中球への分化能の解析(第2報)**
第72回日本生化学会大会(1999.10)

田中光*¹, 増宮晴子*¹, 重信弘毅*¹, 川西 徹, 早川堯夫, 宮田節也*², 佐藤洋一*², 中村 竜*³: **心筋収縮時の細胞内カルシウムイオン濃度上昇初期相の高速画像化:心房筋,心室筋での興奮収縮連関の差異**
第8回日本バイオイメーキング学会学術集会(1999.10)

*¹東邦大学薬学部

*²岩手医科大学医学部

*³(株)ニコン

柴山理恵, 河合 洋, 川西 徹, 早川堯夫: **初代培養肝細胞のカルシウムウェーブの発生メカニズムについて—イノシトール三リン酸受容体の細胞内局在との関係—**
第8回日本バイオイメーキング学会学術集会(1999.10)

川西 徹, 田中 光*¹, 増宮晴子*¹, 中村 竜*², 宮田節也*³, 佐藤洋一*³, 早川堯夫, 重信弘毅*¹: **心筋細胞と心室筋細胞の細胞内カルシウムイオン濃度の差異**
第24回レーザー顕微鏡研究会(1999.11)

*¹東邦大学薬学部

*²(株)ニコン

*³岩手医科大学医学部

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 早川堯夫: **ラット肝細胞におけるイノシトール三リン酸による細胞内貯蔵部位からのカルシウムイオンの遊離のトリブチル錫による抑制**
第73回日本薬理学会年会(2000.3)

久光 隆*¹, 大幡久之*¹, 川西 徹, 天野 均*², 山田庄司*², 百瀬和享*¹: **イノシトール三リン酸によるカルシウムイオン遊離へのナトリウムイオン/カルシウムイオン交換系の関与**

第73回日本薬理学会年会(2000.3)

*¹昭和大学薬学部

*²昭和大学歯学部

増宮晴子*¹, 関根敏行*¹, 川西 徹, 早川堯夫, 宮田節也*², 佐藤洋一*², 中村 竜*³, 田中 光*¹, 重信弘毅*¹: **心筋収縮時の細胞内カルシウムイオン濃度上昇初期相の高速画像化:心房筋,心室筋間での興奮収縮連関の差異**
第73回日本薬理学会年会(2000.3)

*¹東邦大学薬学部

*²岩手医科大学薬学部

*³(株)ニコン

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 早川堯夫, 大幡久之*¹, 百瀬和享*¹, 田中光*², 重信弘毅*², 宮田節也*³, 佐藤洋一*³, 中村 竜*⁴: **高速共焦点顕微鏡による細胞内膜系カルシウムチャネルの開口のイメージング**

Focus on Microscopy 2000 ワークショップ(2000.4)

*¹昭和大学薬学部

*²東邦大学薬学部

*3 岩手医科大学医学部

*4 (株)ニコン

Tanaka, H.*¹, Masumiya, H.*¹, Sekine, T.*¹, Kase, J.*¹, Kawanishi, T., Hayakawa, T., Miyata, S.*², Satoh, Y.*², Nakamura, R.*³, Shigenobu, K.*¹: **Rapid scanning confocal imaging of calcium transients, waves, and sparks in atrial and ventricular cardiomyocytes**

Focus on Microscopy 2000 -The 12th International Conference on Confocal Microscopy (2000.4)

*¹ 東邦大学薬学部

*² 岩手医科大学医学部

*³ (株)ニコン

Kawanishi, T., Yamamoto, M.*, Yamakawa, S.*, Takada, N.*, Shibayama, R., Ohata, H.*, Momose, K.*, Hayakawa, T.: **Calcium-independent irreversible perturbation of regulatory mechanisms of intracellular ion concentration induced by glutamate in rat hippocampal neuronal cells**

Focus on Microscopy 2000 -The 12th International Conference on Confocal Microscopy (2000.4)

* 昭和大学薬学部

水口裕之, 早川堯夫, Mark A. Kay*: **簡便なプラスミド構築に基づいたアデノウイルスベクター作製法の開発**

第8回DDSカンファレンス (1999.6)

* Stanford University

石井 (渡部) 明子, 水口裕之, 内田恵理子, 山口照英, 川西徹, 江口暁子*¹, 中西真人*¹, 真弓忠範*², 早川堯夫: **ヒト血球系細胞における膜融合リボソームの標的細胞特異性**

第8回DDSカンファレンス (1999.6)

*¹ 大阪大学微生物病研究所

*² 大阪大学薬学部

Mizuguchi, H., and Mark A. Kay*: **A Simple Method for Generating New Recombinant Adenovirus Vectors Based on In Vitro Ligation**

American Society of Gene Therapy, 2nd Annal Meeting (1999.6)

* Stanford University

Mizuguchi, H., Hayakawa, T., and Mark A. Kay*: **Efficient Construction of a Recombinant Adenovirus Vector by an Improved In Vitro Ligation Method.**

第5回遺伝子治療学会 (1999.6)

* Stanford University

水口裕之, 早川堯夫: **簡便なアデノウイルスベクター作製法の開発と次世代ベクターへの応用**

第15回日本DDS学会 (1999.7)

水口裕之, 早川堯夫: **IRES配列を有した bicistronic ベクターにおける first 遺伝子と second 遺伝子の発現効率の比較**

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

石井 (渡部) 明子, 内田恵理子, 早川堯夫: **プラスミンによる血小板凝集におけるADPの priming 機構について**

第72回日本生化学会大会 (1999.10)

水口裕之, 細野哲司, 村井 淳, 石井 (渡部) 明子, 内田

恵理子, 早川堯夫: **Epstein-Barr ウイルス由来プラスミドを用いた遺伝子発現の長期化及び増強—齧歯類細胞における検討—**

日本薬学会 120 年会 (2000.3)

小林 哲, 新見伸吾, 橋本 統, 早川 堯夫: **四塩化炭素投与ラット肝再生モデルにおけるインヒビリン β A, β B 鎖並びにフォリスタチン mRNA の発現調節**

第6回肝細胞研究会 (1999.6)

新見伸吾, 滝沢 満*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 小林 哲, 早川 堯夫: **初代培養ラット肝細胞におけるハービマイシン A 依存的なグルココルチコイド受容体の減少に関するプロテアーゼの同定**

第6回肝細胞研究会 (1999.6)

* 日本大学生物資源科学部

新見伸吾, 滝沢 満*, 関泰一郎*, 有賀豊彦*, 小林 哲, 早川 堯夫: **初代培養ラット肝細胞におけるハービマイシン A 依存的なグルココルチコイド受容体の減少に関するプロテアーゼの同定**

第72回日本生化学会大会 (1999.10)

* 日本大学生物資源科学部

後藤洋子*, 新見伸吾, 早川堯夫: **絹蛋白質及び糖鎖修飾絹蛋白質への肝細胞接着挙動**

日本化学会第78春季年会 (2000.3)

* 蚕糸・昆虫農業技術研究所

川原信夫: **日本と中国の規格値の共通点と相違点**

第2回薬局方生薬に関する日中国際共同シンポジウム (1999.7)

袴塚高志*, 水流真依子*, 倉田敦代*, 笠井加都*, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: **骨代謝関連遺伝子の発現を変調させる天然物活性化合物の探索**

第12回天然薬物の開発と応用シンポジウム (1999.7)

* 東京理科大学薬学部

川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 倉田敦代*, 水流真依子*, 笠井加都*, 袴塚高志*: **ブラジル生薬 Bucha の化学的研究 (2)**

日本生薬学会第46年会 (1999.9)

* 東京理科大学薬学部

黒柳正典*¹, 杉山和優*², 金沢雅紘*³, 川原信夫: **トドマツの転移ラノスタン型トリテンベン**

第43回精油・テルペン精油化学に関する討論会 (1999.10)

*¹ 広島県立大学生物資源学部

*² 静岡県立大学薬学部

*³ 拓豊産業

黒柳正典*¹, 関 貴弘*², 林 達男*³, 永島慶士*³, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: **Carucaa のトリテルペンとその抗男性ホルモン作用**

第41回天然有機化合物討論会 (1999.10)

*¹ 広島県立大学生物資源学部

*² 静岡県立大学薬学部

*³ (株)ライオン

川原信夫, 富野浩充*, 袴塚高志*, 関田節子, 佐竹元

吉：ヘルー産薬用植物 *Gentiana nitida* の成分研究 (3)

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*東京理科大学薬学部

倉田敦代*, 水流真依子*, 笠井加都*, 袴塚高志*, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: 骨代謝関連遺伝子の発現に影響を及ぼす *cucurbitacin* 類の作用機序解明

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*東京理科大学薬学部

小松 一*, 渡辺雅彦*, 金澤 卓*, 小山恒太郎*, 川原信夫, 杉山 隆*, 若林敬二*: リュウキュウアサギマダラ体液中のがん細胞傷害性物質

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*国立癌センター研究所

関田節子, 横山和正*, 箕浦修介, 川原信夫, 鎌倉浩之, 江崎勝司, 中根孝久, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究 (1) マジックマッシュルームと麻黄

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*滋賀大学教育学部

川原信夫: 日本で栽培されている薬用植物

身近な薬用植物シンポジウム (2000.4)

尹 永淑, 杉本直樹, 米谷民雄, 山田 隆, 関田節子, 佐竹元吉: たばこの成分研究 (1)

日本薬学会第120年会 (2000.3)

杉本直樹, 尹 永淑, 関田節子, 佐竹元吉, 米谷民雄, 山田 隆: たばこの成分研究 (2)

日本薬学会第120年会 (2000.3)

松村年郎, 尹 永淑, 関田節子, 佐竹元吉, 関田 寛, 安藤正典: たばこの成分研究 (3)

日本薬学会第120年会 (2000.3)

中根孝久, 吉松嘉代, 下倉講一郎, 関田節子, 佐竹元吉: けしがら濃縮物 (CPS) のモルヒネ含有量について

日本薬学会第120年会 (2000.3)

関田節子: 麻黄の成分

第9回薬用植物栽培技術フォーラム (1999.7.13)

関田節子: 生薬をめぐる最近の話題 (理化学試験用生薬標準品及び海外における生薬の動向)

第11回生薬漢方製剤の微生物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1999.11)

佐竹元吉, 関田節子, 佐々木次雄^{*1}, 有本恵子^{*2}, 国定孝夫^{*3}, 南 茂^{*4}, 熊倉秀樹^{*5}, 清水袈裟光^{*6}, 佐々木博^{*6}, 新 邦夫^{*6}, 谷 健次^{*6}, 細江久一^{*6}, 松田武夫^{*6}: 生薬の微生物限度試験法 (1) 生菌数試験における試料調製

第11回生薬漢方製剤の微生物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1999.11)

^{*1}国立感染症研究所^{*2}日本生薬連合会^{*3}東京医薬品工業協会^{*4}大阪医薬品協会^{*5}東京生薬協会^{*6}日本漢方生薬製剤協会佐竹元吉, 関田節子, 佐々木次雄^{*1}, 有本恵子^{*2}, 国定孝夫^{*3}, 南 茂^{*4}, 熊倉秀樹^{*5}, 清水袈裟光^{*6}, 佐々木博^{*6}, 新 邦夫^{*6}, 久保利之^{*6}, 藤江正宏^{*6}, 阪本光男^{*6}, 庄司雄三^{*6}: 生薬の微生物限度試験法 (2) 生菌数試験における培養・計測について

第11回生薬漢方製剤の微生物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1999.11)

^{*1}国立感染症研究所^{*2}日本生薬連合会^{*3}東京医薬品工業協会^{*4}大阪医薬品協会^{*5}東京生薬協会^{*6}日本漢方生薬製剤協会佐竹元吉, 関田節子, 佐々木次雄^{*1}, 有本恵子^{*2}, 国定孝夫^{*3}, 南 茂^{*4}, 熊倉秀樹^{*5}, 清水袈裟光^{*6}, 佐々木博^{*6}, 新 邦夫^{*6}, 白鳥 誠^{*6}, 片桐仁史^{*6}, 伊藤 親^{*6}, 川村良裕^{*6}, 吉田将士^{*6}, 井上昌輝^{*6}: 生薬の微生物限度試験法 (2) 特定微生物の検出

第11回生薬漢方製剤の微生物汚染対策ならびに品質管理に関するシンポジウム (1999.11)

^{*1}国立感染症研究所^{*2}日本生薬連合会^{*3}東京医薬品工業協会^{*4}大阪医薬品協会^{*5}東京生薬協会^{*6}日本漢方生薬製剤協会鎌倉浩之, 関田節子, 高鳥浩介, 鈴木明子, 成田紀子, 伊藤 均^{*1}, 木村勝一^{*2}, 平野 剛^{*2}, 佐竹元吉: 生薬の滅菌法に関する研究 (VI)

日本薬学会120年会 (2000.3)

^{*1}原研, 高崎研究所^{*2}三菱電機 (株) ・通信機製作所李 宜融, 高上馬希重, 飯田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 牧野有紀子^{*1}, 内山 寛^{*2}, 小山鐵夫^{*2}: 種子導入した世界各地の *Cannabis sativa* の特性

日本生薬学会第46会 (1999.9)

^{*1}関東麻薬取締事務所^{*2}日大生物資源科学部^{*3}栃木県保健環境センター測野裕之, 高橋真理衣, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 ヘルー産 *Lingua de vaca* の成分について

日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

測野裕之, 高橋真理衣, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 (その2) セスキテルペン誘導体の抗リーシュマニア活性について

日本薬学会第120年会 (2000.3)

高橋真理衣, 測野裕之, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 (その3) ブラジル産 *Lingua de vaca* の抗リーシュマニア活性成分

日本薬学会第120年会 (2000.3)

靛島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 平田陸正*, 矢上 健,

中村晃忠：天然医用材料の安全性評価に関する研究
第21回バイオマテリアル学会大会（1999.11）

* 岩手医科大

靛島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 平田陸正*, 矢上 健,
中村晃忠：医療用ラテックス製品に含まれる発熱性物質の
同定

日本薬学会第120年会（2000.3）

* 岩手医科大

Takahashi, Y.*¹, Kumada, H.*¹, Haishima, Y., Ozono, S.*¹, Isaka,
M.*², Yasuda, Y.*², Nakamura, A., Tochikubo, K.*² and Umemoto,
T.*¹: **Immunoaugment activity of rCTB in vaccination with fim-**
briae of *P. gingivalis*.

The 78th General Session of the International Association for
Dental Research（2000.5）

*¹ Kanagawa Dental College

*² Nagoya City University

高橋祐介*¹, 熊田秀文*¹, 梅本俊夫*¹, 靛島由二, 井坂雅
徳*², 谷口 暢*², 小塚 諭*², 安田陽子*², 枡久保邦
夫*²：経鼻粘膜免疫を応用した歯周病ワクチンの基礎的研
究

第73回日本細菌学会総会（2000.5）

*¹ 神奈川歯科大

*² 名古屋市立大

矢上 健：植物に由来する交差反応性抗原

第4回日本ラテックスアレルギー研究会（1999.7）

矢上 健：ラテックスアレルギーとしての生体防御蛋白質
—植物に由来する交差反応性抗原—

第13回兵庫県臨床アレルギー研究会（1999.10）

矢上 健, 靛島由二, 中村晃忠, 大砂博之*, 池澤善
郎*：植物に由来する交差反応性アレルギーの消化性

第49回日本アレルギー学会総会（1999.10）

* 横浜市立大学医学部

小宮山忠純*¹, 盛岡正博*¹, 矢上 健, 木村哲哉*², 古市
泰宏*³： *W. saturnus var. suaveolens* の産生するキラートキ
シンの精製と諸性質

第72回日本生化学会大会（1999.10）

*¹ 新潟薬科大学

*² 三重大学生物資源学部

*³ エイジーン研究所

北川幸己*¹, 安達 博*¹, 藤原英俊*¹, 二木史朗*², 矢上
健：チオエステルセグメント縮合法による大分子型 CCK
ペプチドの合成研究

第36回ペプチド討論会（1999.10）

*¹ 新潟薬科大学

*² 京都大学化学研究所

北川幸己*¹, 藤原英俊*¹, 矢上 健, 二木史朗*²：コレシ
ストキニン (CCK)-58 の合成とキャラクタリゼーション

日本薬学会第120年会（2000.3）

*¹ 新潟薬科大学

*² 京都大学化学研究所

Yagami, T., Haishima, Y., Nakamura, A., Osuna, H.*¹, Ikezawa,

Z.*¹, Komiyama, T.*² and Kitagawa, K.*²: **Significance of**
Carbohydrate Epitopes in a Latex Allergen with β -1,3-
Glucanase Activity

56th Annual Meeting of the American Academy of Allergy,
Asthma and Immunology（2000.3）

*¹ 横浜市立大学医学部

*² 新潟薬科大学

鹿庭正昭：抗菌のあるべき姿，評価（使用する側からの話
題提供）

第26回日本防菌防黴学会（1999.5）

福永典子*, 佐藤優子*, 上出良一*, 新村真人*, 鹿庭正
昭：眼鏡フレームの先セルによる接触皮膚炎2例

第29回日本皮膚アレルギー学会（1999.7）

* 東京慈恵医大

Kaniwa, M., Ikarashi, Y., Huh, W.K.*¹, Tada, J.*¹ and Masuji,
Y.*²: **A study on allergic contact dermatitis from antimicro-**
bial agents in household plastic products

12th International Contact Dermatitis Symposium（1999.10）

*¹ 岡山大医

*² 岡山協立病院

鹿庭正昭, 五十嵐良明：抗菌製品による健康被害：原因製
品—原因化学物質—リスク評価

第36回全国衛生化学技術協議会（1999.11）

鹿庭正昭, 五十嵐良明：プラスチック製めがね部品による
アレルギー性接触皮膚炎：着色剤中のアレルギー性染料成
分の確認

第24回日本接触皮膚炎学会（1999.12）

鷲見康子*, 鈴木加余子*, 竹内 誠*, 松永佳世子*, 上
田 宏*, 鹿庭正昭：膝固定用装具による接触皮膚炎の一
例

第24回日本接触皮膚炎学会（1999.12）

* 藤田保健衛生大学医学部

Kaniwa, M.: **Role of dyes in coloring agents as causes of eye-**
glass earpiece dermatitis in Japan

5th Congress of the European Society of Contact Dermatitis
（2000.5）

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 中村晃忠：マウスにおけるホルム
アルデヒドの経皮暴露が化学物質に対するアレルギー反応
に及ぼす影響

第26回日本トキシコロジー学会学術年会（1999.7）

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 中村晃忠：マウスにおけるホルム
アルデヒドの連続塗布が免疫応答に与える影響

第36回全国衛生化学技術協議会（1999.11）

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 中村晃忠：マウスにおけるホルム
アルデヒドの経皮塗布が化学物質アレルギー反応性に及ぼ
す影響

日本薬学会第120年会（2000.3）

中島晴信*¹, 松永一朗*¹, 宮野直子*¹, 宮内留美*², 羅川
日出男*², 増田ゆり*², 伊佐間和郎, 五十嵐良明, 鹿庭正
昭：抗菌防臭製品の市場調査—大阪府下における調査結

果一

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*1 大阪府立公衆衛生研究所

*2 大阪府保健衛生部

土屋利江, 板橋由佳, 中村晃忠: 高分子材料の発癌性評価に関する研究—組織工学材料等の形質転換活性について
第2回日本組織工学会 (1999.6)

Tsuchiya, T., Itahashi, Y. and Nakamura, A.: **Important roles of gap-junctional intercellular communication (GJIC) in the tissue engineering products: Inhibitory actions of the polylactic acid and its related co-polymers on the GJIC as a tumor promoting action**

1999 International Gap Junctional Conference (1999.8)

Tsuchiya, T., Nakamura, A., Yang, C.Z.* and Cooper, S.L.*: **Loss of inhibitory action on the gap-junctional intercellular communication by polyurethane-surface modification with positive or negative charged substitution**

Epigenetic Toxicant-Induced Signal Transduction and Altered Cell-Cell Communication (1999.10)

* University of Wisconsin

土屋利江: 超微粒子の細胞機能阻害および代謝協同阻害試験「微粒子が生体および細胞に及ぼす影響」
日本バイオマテリアル学会講座 (1999.11)

土屋利江, 板橋由佳, 市川 明, 中村晃忠: ポリ乳酸の発癌性評価に関する研究: ギャップ結合細胞間連絡阻害機構について
第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

土屋利江, 市川朋子, 中村晃忠: 酸化チタンの生体適合性評価に関する研究 細胞間連絡阻害活性等について
第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

Tsuchiya, T., Ichikawa, A. and Nakamura A.: **Important roles of connexins in safety of biomaterials and a possibility of genetically induced cells with an expression construct encoding connexins results in reducing the tumorigenic potentials of biomaterials**

6th World Biomaterials Congress (2000.5)

市川 明, 土屋利江, 中村晃忠: ポリウレタンの発癌性の分子機構: コネキシン遺伝子発現の解析
第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

市川 明, 土屋利江, 中村晃忠: コネキシン遺伝子導入機能改変細胞による組織構築
第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

市川 明, 土屋利江: 遺伝子組込型人工臓器の安全性・有効性評価に関する基礎的研究: コネキシン遺伝子導入による低発癌性細胞株の開発
第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

市川 明, 土屋利江: ポリウレタンの発癌性の分子機構: ポリウレタンで癌化した細胞株におけるギャップ結合細胞間連絡機能の解析
日本農芸化学会2000年度大会 (2000.4)

朴 正雄, 土屋利江, 中村晃忠: バイオ人工臓器の安全性評価に関する研究: ヒトヒフ繊維芽細胞機能に及ぼす多糖類の影響

第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

伊佐間和郎, 土屋利江, 中村晃忠: γ 線照射 PLLA の物理化学的特性および骨分化影響評価

第28回医用高分子シンポジウム (1999.7)

伊佐間和郎, 土屋利江, 中村晃忠: PLLA のマウス及びヒト骨芽細胞の骨分化機能に対する影響

第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: 高分子材料上での細胞機能に関する研究

第2回日本組織工学会 (1999.6)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: 粒子状物質の細胞機能への影響に関する研究

第28回医用高分子シンポジウム (1999.7)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: ポリエチレン上での細胞間連絡阻害と cAMP の関与について

第21回日本バイオマテリアル学会大会 (1999.11)

Nakaoka, R., Tsuchiya, T. and Nakamura, A.: **Studies on tumor promoting activity of polyethylene immobilized with various proteins**

The 4th Asian Symposium on Biomedical Materials (1999.11)

Nakaoka, R., Tsuchiya, T. and Nakamura, A.: **In vitro evaluation for biocompatibility of various kinds of particles derived from biomaterials**

International workshop for bio-integrated materials and tissue engineering (2000.1)

新谷英晴: 滅菌バリデーションで抵抗性にばらつきのない培地組成の確立

PDA 年次大会 (1999.11)

新谷英晴, 数馬昂始*1, 櫻井美栄*2: 無菌性保証に使用される生物指標の性能のばらつきの原因について

第27回防菌防黴学会 (2000.5)

*1 K2 インターナショナル

*2 石川島播磨重工業

新谷英晴, 佐々木公一*1, 伊藤潤平*2: 無菌性保証に使用される生育培地性能のばらつきの原因について

第27回防菌防黴学会 (2000.5)

*1 エーザイ 美里工場

*2 日本ベクトンデッケンソン 福島工場

櫻井美栄*1, 高橋亮二*1, 荒井智子*1, 藤川由美子*1, 高橋 裕*1, 釜瀬幸広*1, 水野智夫*1, 福永 栄*1, 数馬昂始*2, 新谷英晴: オゾンガス滅菌のバリデーション

第27回防菌防黴学会 (2000.5)

*1 石川島播磨重工業

*2 K2 インターナショナル

高瀬 護*, 出口統也*, 今井匡弘*, 小久保 護*, 新谷

英晴：過酸化水素蒸気滅菌における生物指標のD値のバラツキについて

第27回防菌防黴学会 (2000.5)

*1 澁谷工業

Sato, M.: **Current Accessible Databases Around the World**
NIH Technology Assessment Conference, "Improving Medical Implant Performance Through Retrieval Information: Challenges and Opportunities" (2000.1)

林 譲：機器分析におけるバリデーション精度について
第13回生体成分の分析化学シンポジウム (1999.8)

林 譲, 松田りえ子, 四方田千佳子, 勝峰万里*, 岩木和夫* : HPLC分析における適切なデータ取り込み間隔について (2)

日本分析化学会第48年会 (1999.9)

* 荏原総合研究所

Katsumine, M.*, Iwaki, K.*, Yomota, C., Hayashi, Y., and Matsuda, R.: **Influence of sampling intervals of A/D converter on precision in HPLC analysis**

113th AOAC INTERNATIONAL Annual Meeting (1999.9)

* Ebara Research Co., Ltd.

林 譲, 松田りえ子：定量の不確かさ 1. 希釈操作の不確かさについて

日本薬学会第120年会 (2000.3)

林 譲, 松田りえ子, 四方田千佳子, 勝峰万里*, 岩木和夫*, 田頭洋子, 四方田千佳子：定量の不確かさ 2. 検量線の不確かさについて

日本薬学会第120年会 (2000.3)

* 荏原総合研究所

林 譲, 松田りえ子, 伊藤克敏*1, 前田昌子*1, 今井一洋*2 : FUMI理論による生物発光分析の精度予測

第61回分析化学討論会 (2000.5)

*1 昭和大学薬学部

*2 東京大学大学院薬学系研究科

安藤正典：広域的な水質管理体制整備の方策—水質管理はどうあるべきか—

全国水道研究発表会シンポジウム (1999.5)

中野淑雄*1, 西村哲治, 高木博夫*2, 中川順一*3, 加藤信弥*4, 宇田川富男*5, 蜂屋 滋*6, 沖 恒二*7, 寺島勝彦*8, 伊藤 保*9, 安藤正典：HPLCを用いたマイクロキスティン測定方法の検討

第50回全国水道研究発表会 (1999.5)

*1 福岡地区水道企業団

*2 国立環境研究所

*3 東京都衛生研究所

*4 仙台市水道局

*5 東京都水道局

*6 千葉県水道局

*7 横浜市水道局

*8 大阪市水道局

*9 大阪府水道局

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典：ビスフェノー

ルAの*In vitro*経皮吸収に関する研究

第44回日本化粧品技術者会研究討論会 (1999.6)

内野 正, 鄭 然孫, 徳永裕司, 安藤正典, 内海英雄* : 酸化チタンの光毒性-(2) コーティングによるOHラジカル生成及び細胞毒性への影響

日本化粧品科学会第24回学術大会 (1999.6)

* 九州大学

安藤正典：内分泌かく乱化学物質の水道水からの暴露等に関する調査研究 「水質分析法・溶出試験方法の検討及び、空気からの暴露に関する調査研究」

第7回内分泌かく乱化学物質の健康影響に関する検討会

平成10年度厚生科学研究成果発表 (1999.8)

Kenji Otsuka*, Toshiro Matsumura, Mika Hamada, Masanori Ando: **Development of the TVOC automatic analyzer and test to evaluate its performance**

Indoor Air 99 (1999.8)

* Koukan Keisoku Corporation

Eiji Osada*, Toshiro Matsumura, Mika Hamada, Masanori Ando: **Application to formaldehyde diffusion sampler of DNPH cartridge and evaluation testing of that sampling**

Indoor Air 99 (1999.8)

* DKK Corporation

Asako Hasegawa*, Hiromi Komine*, Toshiro Matsumura: **Validation of field measuring strategies for indoor air pollution by formaldehyde in Japanese residences**

Indoor Air 99 (1999.8)

* Chiba Institute of Technology

Satoru Muramatsu*, Toshiro Matsumura: **TVOC automatic analyzer of performance evaluation test and measurement results of indoor VOC**

Indoor Air 99 (1999.8)

* Musashino Women's College

安藤正典：最近の水質検査方法について

全国給水衛生検査協会 飲料水検査技術講習会 (1999.9)

濱田実香, 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典：化学物質による室内汚染 (32)

第40回大気環境学会年会 (1999.9)

松村年郎, 濱田実香, 関田寛, 安藤正典, 長田英二* : 化学物質による室内汚染 (33) 室内空気中のアルデヒド類の測定法の検討とアプリケーションについて

第40回大気環境学会年会 (1999.9)

* 電気化学計器 (株)

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 須山徹史* : 化学物質による室内汚染 (34) 加熱脱着GC/MS法による室内空気中のVOCsの測定結果について

第40回大気環境学会年会 (1999.9)

* 日大理工

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 大塚健次* : 化学物質による室内汚染 (35) 居住環境内におけるVOCとHCHO濃度の経時変化について (2)

第40回大気環境学会年会 (1999.9)

*1 銅管計測 (株)

内野 正, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 小野寺博志:
SQOOHによる細胞毒性及びサイトカイン放出に対する防
 御効果を指標としたブラジル産生薬の活性成分の検索
 第7回生体パーオキサイド研究会 (1999.9)

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 安藤
 正典: ペルオキシゾーム増殖性汚染物質評価系
 第5回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究
 発表会 (1999.9)

埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 西村哲治, 安藤
 正典: オクチルフェノールポリエトキシレート生分解物と
 ラット肝シトクロムP450の相互作用
 第5回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究
 発表会 (1999.9)

神野透人, 埴岡伸光, 香川 (田中) 聡子, 伊藤雅喜*, 西
 村哲治, 北澤弘美*, 国公章一*, 安藤正典: ラット肝細
 胞によるオゾン処理 **Microcystin-LR** の生物評価
 第5回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究
 発表会 (1999.9)

* 国立公衆衛生院

埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 西村哲治, 安藤
 正典: クロロトリアジン系農薬のラット肝ミクロソームに
 おける代謝
 第14回日本薬物動態学会年会 (1999.10)

鄭 然孫, 城間貴世, 香川 (田中) 聡子, 神野透人, 徳永
 裕司, 安藤正典: 肥満細胞の **Signal Transduction** に対する
Octylphenol polyethoxylate 生分解物の影響
 第25回環境トキシコロジーシンポジウム・第3回衛生薬学
 フォーラム合同大会 (1999.10)

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 安藤
 正典: ペルオキシゾーム増殖性汚染物質評価系
 第25回環境トキシコロジーシンポジウム・第3回衛生薬学
 フォーラム合同大会 (1999.10)

埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 西村哲治, 安藤
 正典: ラット肝シトクロムP450に及ぼすオクチルフェノ
 ールポリエトキシレート生分解物の影響
 第25回環境トキシコロジーシンポジウム・第3回衛生薬学
 フォーラム合同大会 (1999.10)

香川 (田中) 聡子, 鄭 然孫, 埴岡伸光, 西村哲治, 神野
 透人, 安藤正典: ヒト表皮角化細胞 **EGF** レセプターの無
 機ヒ素化合物によるリン酸化亢進
 第25回環境トキシコロジーシンポジウム・第3回衛生薬学
 フォーラム合同大会 (1999.10)

神野透人, 埴岡伸光, 鄭 然孫, 西村哲治, 香川 (田中)
 聡子, 安藤正典: 無機ヒ素化合物によるラット肝細胞の増
 殖因子受容体リン酸化の亢進
 第25回環境トキシコロジーシンポジウム・第3回衛生薬学
 フォーラム合同大会 (1999.10)

Toshiro Matsumura: The Present Situation of the Indoor

Pollution with Chemical Substances in Domestic and Non-Domestic Building In Japan

International Symposium on Clean Technology and Management for Indoor Air (1999.11)

安藤正典: 屋内環境分野における化学物質
 環境衛生大会 (1999.11)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: ビスフェノ
 ルAの *In vitro* 経皮吸収に関する研究
 第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 安藤
 正典: 遺伝子組換え細胞を用いた環境有害物質の評価 (II)
 第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

内野 正, 徳永裕司, 安藤正典: 化粧水および乳液, クリ
 ーム中の塩酸プロカイン及び塩酸ジブカインの高速液体ク
 ロマトグラフィーによる定量法
 第45回SCCJ研究討論会 (1999.11)

徳永裕司, N. Chandraskaran, 安藤正典, G. Samanta, D.
 Chakraborti: **HPLC/ICP-MS**によるヒ素化合物の形態分析
 に関する研究
 第9回ヒ素シンポジウム (1999.11)

N. Chandraskaran, 徳永裕司, 安藤正典, G. Samanta, D.
 Chakraborti: **Application of microwave induced spectrometer
 as element specific detector for arsenic speciation analysis**
 第9回ヒ素シンポジウム (1999.11)

香川 (田中) 聡子, 鄭 然孫, 埴岡伸光, 西村哲治, 神野
 透人, 安藤正典: ヒ素化合物によるヒト表皮角化細胞 **EGF**
 レセプターのリン酸化と **MAP kinase** 活性化
 第9回ヒ素シンポジウム (1999.11)

神野透人, 埴岡伸光, 鄭 然孫, 西村哲治, 香川 (田中)
 聡子, 安藤正典: 無機ヒ素化合物によるラット肝細胞
MAP キナーゼの活性化
 第9回ヒ素シンポジウム (1999.11)

松村年郎: ホルムアルデヒド簡易計測器の最近の動向
 第2回室内環境学会 (1999.12)

今中努志*, 星野邦広*, 松村年郎: 室内建材発生ガスの
 オンライン分析装置の検討
 第2回室内環境学会 (1999.12)

* ジーエルサイエンス (株)

松村年郎, 濱田実香, 生田研一*: 室内空気中の有機リン
 化合物の測定法とそのアプリケーションについて
 第2回室内環境学会 (1999.12)

* 進和テック (株)

松村年郎, 濱田実香, 中村 豊*: 加熱脱着 **GC/MS** 法に
 よる室内空気中における **VOCs** 測定法の検討とそのアプリ
 ケーションについて
 第2回室内環境学会 (1999.12)

* 日本鑄鉄管 (株)

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 角野正弥*1,

長田英二^{*2}: 化学物質及び燃焼生成物による室内汚染
第2回室内環境学会 (1999.12)

^{*1}東京顕微鏡院
^{*2}電気化学計器 (株)

岡本繁雄^{*1}, 村松 学^{*2}, 松村年郎: 居住環境内における
化学物質汚染について (その2)

第2回室内環境学会 (1999.12)

^{*1}南多摩保健所
^{*2}武蔵野女子大学

熊谷一清^{*1}, 池田耕一^{*2}, 堀 雅宏^{*3}, 松村年郎: 居住状
態における住宅室内の揮発性有機化合物に関する実態調査
第2回室内環境学会 (1999.12)

^{*1}早稲田大学
^{*2}国立公衆衛生院
^{*3}横浜国立大学

安藤正典: 厚生省による VOC 全国実態調査
(社) 日本建築学会 連続講座 ヘルシーな室内環境 (2000.3)

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 安藤
正典, 平川江美^{*1}, 鈴木和人^{*1}, 西川淳一^{*2}, 西原
力^{*2}: 酵母 Two-Hybrid System による水質汚染物質のエス
トロゲン様活性の評価

第34回日本水環境学会年会 (2000.3)

^{*1}東京医薬専門学校
^{*2}大阪大学大学院薬学研究科

徳永裕司, 城間貴世, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典, 大
沢基保^{*1}, 内海英雄^{*2}: *In vitro* 抗体産生系を用いた化学
物質の免疫毒性の簡易評価法

日本薬学会第120回年会 (2000.3)

^{*1}帝京大学薬学部
^{*2}九州大学薬学部

内野 正, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 徳永裕司, 安
藤 正典: 過酸化脂質の培養細胞に対する細胞毒性及びサイ
トカイン放出への影響 (第3報) - ブラジル産生薬中の
活性物質の検索 -

日本薬学会第120回年会 (2000.3)

埴岡伸光, 神野透人, 香川 (田中) 聡子, 西村哲治, 安藤
正典: クロロトリアジン系農薬のラット肝ミクロソームに
おける代謝およびエストロゲン作用

日本薬学会第120回年会 (2000.3)

神野透人, 埴岡伸光, 香川 仁^{*}, 香川 (田中) 聡子, 西村
哲治, 針谷義弘^{*}, 安藤正典: ラット肝細胞の性ステロイ
ド代謝に対する塩素化 4-tert-octylphenol 類の影響

日本薬学会第120回年会 (2000.3)

^{*}北里大薬

野崎厚夫^{*1}, 池田耕一^{*2}, 松村年郎: 脱臭機, 空気清浄機,
コピー機等による室内オゾン汚染に関する研究

第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究
大会 (2000.4)

^{*1}東北文化学園大学
^{*2}国立公衆衛生院

今中努志^{*}, 星邦広^{*}, 松村年郎: チャンバー法による室

内内装材から発生する有機化合物の測定と評価

第18回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究
大会 (2000.4)

^{*}ジーエルサイエンス (株)

Lehotay, S. J.^{*1}, Schaner, A.^{*2}, Nemoto, S., Fetcho, J. H.^{*3},
Barney, J.^{*4}, Heighton, L.^{*3}, McIntyre, R.^{*5}, Rosenblum, L.^{*6},
Lightfield, A.^{*1}, Barden, T.^{*7}, Hopper, M.^{*8}, Valverde, A.^{*9},
Pihlstrom, T.^{*10}, Anastassiades, M.^{*11}, Scherbaum, E.^{*11}, Santer,
J.^{*12}, Deets, R.^{*13}, Morrison, S.^{*13}, Harvey, R.^{*14}: Collaborative
Study for the Determination of Pesticide Residues in
Nonfatty Foods by SFE and GC/MS

113th AOAC International Annual Meeting and Exposition
(1999.9)

^{*1}USDA Agricultural Research Service, Wyndmoor (USA)
^{*2}Montana Department of Agriculture (USA)
^{*3}USDA Agricultural Research Service, Beltsville (USA)
^{*4}USDA, GIPSA (USA)
^{*5}North Carolina Department of Agriculture (USA)
^{*6}Environmental Protection Agency, NERL (USA)
^{*7}Australian Govt. Analytical Lab. (Australia)
^{*8}Food and Drug Administration, TDRC (USA)
^{*9}University of Almeria (Spain)
^{*10}National Food Administration (Sweden)
^{*11}Chemistry and Veterinary Sciences Lab. (Germany)
^{*12}Agricultural and Forestry Research Center (Italy)
^{*13}Campbell's Soup Co. (USA)
^{*14}Beech-Nut Nutrition Corp. (USA)

高附 巧, 根本 了, 佐々木久美子, 豊田正武, 今中雅章^{*1},
衛藤修一^{*2}, 村上恵美子^{*2}: 食品中の 2,4-dichlorophenol 及
び alkyl phenol 類の実態調査

第36回全国衛生化学技術協議会年会(1999.11)

^{*1}岡山県環境保健センター
^{*2}北九州市環境科学研究所

松田りえ子, 林譲, 四方田千佳子: HPLC におけるデータ
処理と精度について

第134回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (1999.7)

松田りえ子, 豊田正武: 分析精度管理指標調査結果につい
て

第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

Matsuda, R., Araki, E., Kurata, H. and Matsuoka, H.: AOAC
INTERNATIONAL validation programs and the role of the
AOAC INTERNATIONAL Japan Section
CITAC '99 分析信頼性国際会議 (1999.11)

^{*}AOAC INTERNATIONAL 日本セクション

近藤一成, 内田理一郎^{*}, 徳武昌一^{*}, 鈴木 隆, 豊田正
武: ブドウ種子由来プロアントシアニジンの RBL-2H3 細
胞内カルシウム, 活性酸素及び脱顆粒に与える影響

日本薬学会 第120回年会 (2000.3)

^{*}キッコーマン

森本隆司^{*}, 山田真記子^{*}, 加藤喜昭^{*}, 中村幹雄^{*}, 合田
幸広: 食用黄色4号の副成色素の化学構造

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

^{*}三栄源 FFI

穂山 浩, 星野香織, 徳住真帆, 佐久嶋順一郎, 手島玲子, 合田幸広, 澤田純一, 豊田正武, 菅沼大行*, 稲熊隆博*: ニンジン (*Daucus carota* L.) 果汁の抗I型アレルギー活性について

第12回天然薬物の開発と応用シンポジウム (1999.7)

*カゴメ(株) 総合研究所

Akiyama, H.: Clean analysis of mycotoxin by HPLC

International Symposium of Mycotoxicology 99, Chiba (1999.9)

合田幸広, 大槻 崇, 太田久恵, 岡原祐子, 佐久嶋順一郎, 加藤喜昭*, 豊田正武: アカダイコン中のアントシアニンの構造決定とヒスタミン遊離抑制活性について

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*三栄源FFI

島田素子*, 木下武司*, 合田幸広: マメ科ナンテンカズラ *Caesalpinia crista* の成分について

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*帝京大学薬学部

庄司俊彦*, 合田幸広, 神田智正*, 柳田顕郎*, 中川圭一*, 佐久嶋順一郎, 豊田正武: 果実酒由来新規アントシアニン色素の構造解析

日本農芸化学会2000年大会 (2000.4)

*ニッカウキスキー生技研

古庄義明¹, 佐久嶋順一郎, 穂山 浩, 合田幸広, 庄司俊彦², 豊田正武: 96ウェル固相抽出プレートを利用した血液中のエピカテキンおよびプロシアニジンの分析法の開発

日本薬学会 第120年会 (2000.3)

¹ジーエルサイエンス

²ニッカウキスキー(株) 生産技術研究所

能勢充彦*, 日比 聡*, 佐久嶋順一郎, 荻原幸夫*: 漢方の科学的評価(第24報) 経口免疫寛容に及ぼす温清飲の影響

日本薬学会 第120年会 (2000.3)

*名古屋市立大学薬学部

佐久嶋順一郎, 河内貴衣, 合田幸広, 穂山 浩, 庄司俊彦*, 神田智正*, 豊田正武: リンゴ未熟果由来 Procyanidin の重合度と、その抗アレルギー活性

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*ニッカウキスキー(株) 生産技術研究所

日野明寛*, 松岡 猛*, 川島よしみ*, 三浦裕仁*, 日下部祐子*, 一色賢司*, 穂山 浩*, 合田幸広, 豊田正武: 農産物・加工食品からの組換え遺伝子の検知法

日本農芸化学会2000年大会 (2000.4)

*農水省食品総合研究所

酒井信夫*, 松藤 寛*, 千野 誠*, 合田幸広, 豊田正武, 武田明治*: モロヘイヤ (*Corchorus olerarius* L.) 種子中の新規強心配糖体の構造と Na⁺ - K⁺ 輸送性 ATPase 阻害活性について

日本農芸化学会2000年大会 (2000.4)

*日本大学生物資源科学部

合田幸広, 穂山 浩, 佐々木真紀子, 豊田正武, 松岡 猛*, 日野明寛*: コーンスナック菓子からの CP4EPSPS 遺伝子

の検知について

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

*農水省食品総合研究所

日野明寛*, 松岡 猛*, 合田幸広, 穂山 浩, 佐々木真紀子, 豊田正武: コーンスナック菓子からの barnase 遺伝子の検知について

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

*農水省食品総合研究所

合田幸広: 食用タール色素の中の副成色素の構造と無機不純物に関する研究

日本食品化学学会第6回総会・学術大会 (2000.5)

Miyahara, M., Toyoda, M., Saito, Y., Ito, H.¹, Saito, A.², Nagasawa, N.²: Identification of Gamma-Irradiated Foods by New hydrocarbon Procedure3

The 113th Annual AOAC International Meeting and Exposition (1999.9)

¹ Atomic Energy Research Institute Takasaki Radiation Establishment

² Kitazato University;

後藤典子*, 田邊寛子*, 宮原 誠: 照射鶏肉の炭化水素法及び ESR 法による検知について

日本食品照射研究協議会 第35回大会 (1999.12)

*東京都産業技術研究所

宮原 誠, 伊藤 均¹, 長沢妙子², 豊田 正武: オルトチロシン法による照射食肉の検知

日本薬学会第120年会 (2000.3)

¹ 日本原子力研究所高崎研究所

² 北里大学医療衛生学部

Miyahara, M., Toyoda, M., Saito, A., Nagasawa, T.: Detection of Gamma-Irradiation of Food by New hydrocarbon Procedure4

International Conference on Ensuring the Safety and Quality of Food through Radiation (1999.10)

* Kitazato University

松野伸広*, 加藤文秋*, 石橋 亨*, 伊藤 武*, 坂井千三*, 川崎洋子, 石綿 肇, 山田 隆: 食品中のパラオキシ安息香酸エステル類 (メチルエステルを含む) の一斉分析法

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

* (財) 東京顕微鏡院

杉田たき子, 山田 隆, 平山クニ¹, 長谷川康行², 石橋 亨³: ポリ塩化ビニル製おもちゃ中のフタル酸エステル含有量及び溶出試験法の検討

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

¹ 神奈川県衛生研究所

² 千葉県衛生研究所

³ (財) 東京顕微鏡院

新野竜大*, 加藤文秋*, 石橋 亨*, 伊藤 武*, 坂井千三*, 杉田たき子, 山田 隆: ポリ塩化ビニル製おもちゃ中のフタル酸ジイソノニル (DINP) のヒト唾液への溶出-移行

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

* (財) 東京顕微鏡院

平林尚之*, 福原克治*, 鷹野祐子*, 遠藤和香子*, 安生孝子*, 松木容彦*, 杉田たき子, 山田 隆: おもちゃからのフタル酸ジイソノニル (DINP) の *in vitro* 溶出の検討
日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

* (財)食品薬品安全センター秦野研究所

阿部有希子, 石綿 肇, 山田 隆: ポストカラム HPLC によるチーズ中のヘキサメチレンテトラミンとホルムアルデヒドの分別定量

日本薬学会第120年会 (2000.3)

新野竜大*¹, 石橋 亨*¹, 小野寺祐夫*², 伊藤 武*¹, 坂井千三*², 杉田たき子, 山田 隆: ポリ塩化ビニル製玩具中のフタル酸エステルのヒト唾液への溶出

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*¹ (財)東京顕微鏡院

*² 東京理科大学薬学部

武田由比子, 阿部有希子, 石綿 肇, 山田 隆: 液体クロマトグラフィーによる粉末スープ中ポリソルベート分析

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

阿部有希子, 武田由比子, 石綿 肇, 山田 隆: 新甘味料アセスルファムカリウムの規格試験法の検討

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

松野伸広*, 朝倉敬行*, 新野竜大*, 加藤文秋*, 石橋亨*, 伊藤 武*, 坂井千三*, 石綿 肇: 食品中のパラオキシ安息香酸エステル類の加水分解によるパラオキシ安息香酸の HPLC 分析

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

* (財)東京顕微鏡院

石綿 肇, 山田 隆, 西島基弘*¹, 深澤喜延*²: 全国の行政検査結果 (1996年度) に基づいた16種の食品添加物の濃度実態と推定摂取量

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

*¹ 東京都立衛生研究所

*² 山梨県衛生公害研究所

佐藤恭子: 天然着色料の含有成分に関する研究

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

杉本直樹, 福田純子, 高鳥浩介, 米谷民雄: 天然保存料酵素分解ハトムギ抽出物の成分分析

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

劉 宏民, 秋山卓美, 杉本直樹, 米谷民雄: 天然甘味料酵素処理カンゾウの成分分析

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

Shah, K., Sato, K., Kubota, H. Tsutsumi, K. and Maitani, T.: Heavy Metal Caused Changes in Pigment Levels and Synthesis of Phytochelatin Analogs in *Rubia tinctorum* root cultures

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

宇野喜貴*, 大本俊郎*, 後藤康慶*, 浅井以和夫*, 中村幹雄*, 米谷民雄: GPC/ICP による天然増粘安定剤カラギナンの分子量分布

日本食品化学学会第5回総会・学術大会 (1999.6)

* 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

Shah, K., Kubota, H., Yamada, T. and Maitani, T.: Induction of iso-PC(Gln) catalyzed by a unique γ -glutamylcysteinylglutamine transpeptidase and its utilization for PC synthesis in cadmium treated root cultures of *Armoracia rusticana* (horseradish)

Plant Biology Canada '99 (1999.6)

小柳美喜子*¹, 香田隆俊*², 米谷民雄, Eric Davies*³, 山田晃世*¹, 小関良宏*¹: MITEs による遺伝子組み換え植物における遺伝子不活性化の抑制

日本植物細胞分子生物学会 (1999.7)

*¹ 東京農工大学工学部

*² 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

*³ Botany Department, North Carolina State University

Liu, H.-M., Xu, W., Liu, Z. and Maitani, T.: A novel synthetic method for allosamine derivatives

XVth International Symposium on Glycoconjugates (1999.8)

佐藤恭子, 坂元 (佐々木) 史歩, 合田幸広, 山田 隆, 布村 伊*¹, 石川恵子*², 米谷民雄: オンライン超臨界流体抽出/超臨界流体クロマトグラフィーによる *Capsicum* 胎座中の capsaicinoids の分析

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

*¹ 日本園芸生産研究所

*² 千葉大学園芸学部

杉本直樹, 福田純子, 高鳥浩介, 米谷民雄, 山田 隆: 天然保存料カラワヨモギ抽出物の成分分析
第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

米谷民雄: 植物メタロチオネイン: フィトケラチンメタロチオネイン '99 (1999.11)

米谷民雄, Shah, K., 久保田浩樹, 山田 隆: 植物培養細胞に誘導されるフィトケラチン類の研究

メタロチオネイン '99 (1999.11)

Sugimoto, N., Yamada, T. and Maitani, T.: Constituents of natural food additives used as preservatives and sweeteners

8th International Symposium on Natural Product Chemistry (2000.1)

Akiyama, T., Yamada, T. and Maitani, T.: Analyses of enzymatically glucosylated flavonoids by capillary electrophoresis
HPCE2000 (2000.2)

劉 宏民, 秋山卓美, 杉本直樹, 山田 隆, 米谷民雄: 天然甘味料酵素分解カンゾウの成分研究
日本薬学会第120年会 (2000.3)

久保田浩樹, 山田 隆, 米谷民雄: セイヨウワサビ培養根で見出された新規フィトケラチン類の生成経路
日本薬学会第120年会 (2000.3)

Liu, H.-M., Zhang, F., Liu, Z. and Maitani T.: Stereoselective synthesis of methyl 4,6-O-benzylidene-2-C-methoxycarbonyl-methyl- α -D-ribo-hexopyranoside-3-ulose

日本薬学会第120年会 (2000.3)

尹永淑, 杉本直樹, 米谷民雄, 山田 隆, 関田節子, 佐竹

元吉：たばこの成分研究 (1)
日本薬学会第120年会 (2000.3)

杉本直樹, 尹永淑, 関田節子, 佐竹元吉, 米谷民雄, 山田隆：たばこの成分研究 (2)
日本薬学会第120年会 (2000.3)

長岡めぐみ, 山田 隆, 米谷民雄：HPLC/HR-ICP-MS法による金属とトランスフェリンの結合状態の解析
日本薬学会第120年会 (2000.3)

秋山卓美, 山田光男, 山田 隆, 米谷民雄：食品添加物酵素処理ナリンジンの構成成分の構造
日本農芸化学会2000年度大会 (2000.4)

Nagaoka, M. Yamada, T. and Maitani, T.: High resolution ICP-MS connected directly with HPLC for the study of metal-transferrin binding in aluminum and iron
6th International Symposium on Metal Ions in Biology and Medicine (2000.5)

杉本直樹, 杉村優美, 米谷民雄：天然甘味料ラカンカ抽出物およびテリョウチャ抽出物の成分分析
日本食品化学学会第6回学術大会 (2000.5)

秋山卓美, 米谷民雄：酵素処理天然添加物のキャピラリー電気泳動による分析
日本食品化学学会第6回学術大会 (2000.5)

宇野喜貴*, 大本俊郎*, 後藤康慶*, 浅井以和夫*, 中村幹雄*, 米谷民雄：ラットを用いた単回混餌投与による糞中カラギナンのGPC/ICPによる分析
日本食品化学学会第6回学術大会 (2000.5)
* 三栄源エフ・エフ・アイ(株)

長岡めぐみ, 米谷民雄：HPLC/高分解能ICP-MS法によるヒト血清トランスフェリンへの金属の結合状態の解析
第10回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (2000.5)

河村葉子, 互井千恵子, 前原玉枝, 山田 隆：ポリ塩化ビニル及びポリ塩化ビニリデン製品中の残存添加物
日本包装学会第8回年次大会 (1999.6)

河村葉子, 前原玉枝, 山田 隆：食品用器具・容器包装中の有機スズ化合物
日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

河村葉子：包装容器中の内分泌かく乱化学物質
日本PDA第7回年会 (1999.10)

河村葉子, 前原玉枝, 飯嶋広代, 山田 隆：プラスチック製器具・容器包装中のノニルフェノール
日本内分泌攪乱化学物質学会第2回研究発表会 (1999.12)

井之上浩一*, 中澤裕之*, 河村葉子, 山田 隆：LC/MSによる缶入水性食品中のビスフェノールA, ビスフェノールA ジグリシジルエーテル及びその関連化合物の分析
日本薬学会第120年会 (2000.3)
* 星薬科大学

河村葉子, 前原玉枝, 飯嶋広代, 山田 隆：ポリ塩化ビニ

ル製ラップフィルム及び手袋中の残存物質の溶出試験
日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

栗原正明, 宮田直樹, 田中正一*, 今若直人*, 末宗洋*： α, α -ジ置換アミノ酸より構成されるホモペプチドのコンフォメーション解析：計算化学によるアプローチ
1999計算化学討論会 (1999.5)
* 九州大学薬学部

Miyata, N., Yamakoshi, Y., Komazawa, Y., Fukuhara, K., Sueyoshi, S.: Mechanistic studies of superoxide generation by fullerene/hv/reductant/O₂ system
The 17th Fullerene General Symposium (1999.8)

Yamakoshi, Y., Umezawa, N.*¹, Nagano, T.*¹, Ryu, A.*², Arakane, K.*², Masumizu, T.*³, Kohno, M.*³, Sueyoshi, S., N. Miyata, N.: Oxy radicals responsible for DNA cleavage by photoexcited fullerene
Fullerene '99 (1999.8)

*¹ 東京大学大学院薬学系研究科

*² コーセー基礎研

*³ 日本電子ESR研

Miyata, N., Yamakoshi, Y., Kojima, M.*¹, Inoue, H.*¹, Takahashi, K.*¹, Gan, L.*²: Inhibitory action of fullerene derivatives against glutathione S-transferase
Fullerene '99 (1999.8)

*¹ 東京薬科大学生命科学科

*² 北京大学

丹野雅幸, 末吉祥子, 宮田直樹：芳香族N-ニトロソ尿素類のジアゾエステル転位における置換基効果と溶媒効果
日本薬学会第43回関東支部大会 (1999.10)

末吉祥子, 丹野雅幸, 福原 潔, 宮田直樹：N-ニトロソ化合物のNO遊離能とDNA切断活性
日本薬学会第43回関東支部大会 (1999.10)

栗原正明, 宮田直樹, 田中正一*, 今若直人*, 末宗洋*： α, α -ジ置換アミノ酸より合成したペプチドの分子力化学法によるコンフォメーション解析
第36回ペプチド討論会 (1999.10)
* 九州大学薬学部

田中正一*, 今若直人*, 栗原正明, 末宗 洋*： α -エチル化 α, α -ジ置換アミノ酸より合成したペプチドのコンフォメーション
第36回ペプチド討論会 (1999.10)
* 九州大学薬学部

駒沢友香, Liangbing Gan*¹, 小島正樹*², 井上英史*², 山越葉子, 宮田直樹, 高橋健治*²：フラレン誘導体のGST酵素活性阻害作用
第72回日本生化学会大会 (1999.10)

*¹ 北京大学

*² 東京薬科大学生命科学科

栗原正明, 小田原毅, 加藤幸弘, 福原 潔, 宮田直樹：トリガーを有するエンジン分子の設計と合成
第25回反応と合成の進歩シンポジウム (1999.11)

Miyata, N., Yamakoshi, Y.: **Fullerene: A photosensitizer effectively generates oxyl radicals to cause DNA cleavage**
Oxygen '99 (1999.11)

大庭 誠*, 今若直人*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗洋*: α, α -ジ置換アミノ酸(S)-ブチルエチルグリシンを含有するペプチドのコンフォメーション

第16回日本薬学会九州支部大会 (1999.12)

*九州大学薬学部

福原 潔, 宮田直樹: 光照射によるニトロアレーンからのNOの生成

日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)

福原 潔, 栗原正明, 宮田直樹: ニトロアレーンからのNOの生成—光活性型NOドナーとしての有効性と問題点—

第14回生体フリーラジカル研究会 (1999.12)

Miyata, N., Yamakoshi, Y.: **Photoexcited fullerene effectively generates oxyl radicals in the physiological conditions to cause DNA-damages**

The 2nd Seminar on Science and Technology: Fullerenes (2000.1)

Inoue, H.*1, Komazawa, Y., Kojima*1, M., Takahashi*1, K., Gan*2, L., Yamakoshi, Y., Miyata, N.: **How does fullerene C60 inhibit glutathione S-transferase?**

The 2nd Seminar on Science and Technology: Fullerenes (2000.1)

*1東京薬科大学生命科学科

*2北京大学

栗原正明, 田中正一*, 今若直人*, 末宗洋*, 宮田直樹: α, α -ジ置換アミノ酸より合成したペプチドのコンフォメーション解析: 分子力学法によるアプローチ

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*九州大学薬学部

丹野雅幸, 末吉祥子, 宮田直樹: 芳香族N-ニトロソアミド類を用いたHeck反応

日本薬学会第120年会 (2000.3)

末吉祥子, 丹野雅幸, 福原 潔, 宮田直樹: 徐放性NO遊離化合物: N-ニトロソピリジリアミン誘導体のNO発生能とDNA切断活性

日本薬学会第120年会 (2000.3)

福原 潔, 永川真希, 宮田直樹: レスベラトロールによるDNA切断反応の構造化学的解析

日本薬学会第120年会 (2000.3)

駒沢友香, Liangbing Gan*1, 小島正樹*2, 井上英史*2, 高橋健治*2, 山越葉子, 末吉祥子, 宮田直樹: フラーレンC60誘導体によるglutathione S-transferaseの阻害

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*1北京大学

*2東京薬科大学生命科学科

橋高敦史*1, 高山弘明*1, 栗原正明, 井上純一郎*2: 5-(ホルミルメチル)-2'-デオキシウリジンのkB配列への導入

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*1帝京大学薬学部

*2東大医科研

田中正一*, 大庭 誠*, 今若直人*, 栗原正明, 末宗洋*: α -エチル化ジ置換アミノ酸(S)-ブチルエチルグリシンを含有するペプチドのコンフォメーション特性

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*九州大学薬学部

大庭 誠*, 玉井宏一*, 田中正一*, 栗原正明, 末宗洋*: 光学活性 α, α -ジ置換アミノ酸(S)-エチルロイシンの合成とペプチドへの利用

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*九州大学薬学部

福原 潔, 宮田直樹: 銅イオン存在下におけるレスベラトロールのDNA切断反応の解析

第10回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (2000.5)

中西郁夫, 福住俊一*: マンガン(III)および鉄(III)ポルフィリン錯体の電子移動速度に及ぼす非平面性の影響

第10回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (2000.5)

*大阪大学大学院工学研究科

橋高敦史*, 須原義智*, 高柳 仁*, 藤島利江*, 高山浩明*, 栗原正明: 2 α -(ω -ヒドロキシアロコキシ)活性型ビタミンD誘導体の効率的合成法

日本ビタミン学会 第52回大会 (2000.5)

*帝京大学薬学部

Miyata, N., Yamakoshi, Y., Nakanishi, I., Fukuhara, K.: **Mechanistic evidences for the generation of superoxide and hydroxyl radical by an aqueous fullerene/hv/O₂/reductant system**

The 197th Meeting of The Electrochemical Society (2000.5)

Nakanishi, I., Yamakoshi, Y., Miyata, N.: **Predominant generation of reduced oxygen species in the photochemical Reaction of C60 with reductants in non-aqueous polar solvents**

The 197th Meeting of The Electrochemical Society (2000.5)

蜂須賀暁子, 中島 治, 高木加代子, 山崎 壮, 澤田純一: OBCAMの神経突起伸長作用の解析

第72回日本生化学会 (1999.10)

中島 治, 蜂須賀暁子, 山崎 壮, 澤田純一: OBCAM結合タンパクの探索

日本薬学会第120年会 (2000.3)

武木田薫*1, 菊池 裕, 山崎 壮, 藤沢正彦*2, 品川森一*3, 高鳥浩介, 谷村顕雄*1, 澤田純一: プリオンタンパクのイムノアッセイ法の開発 (1) 抗PrP抗体の作製及び比較

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*1昭和女子大学

*2東京大学農学部

*3帯広畜産大学

山崎 壮, 武木田薫*1, 菊池 裕, 品川森一*3, 高鳥浩介, 谷村顕雄*1, 澤田純一: プリオンタンパクのイムノアッセ

イ法の開発 (2) 抗体を用いたプリオンタンパク濃縮法の検討

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*1 昭和女子大学

*2 帯広畜産大学

Danilczyk, U. G.*, Ihara, Y.*, Saito, Y., Cohen-Doyle, M. F.*, Williams, D. B.*: **Calreticulin and calnexin are bona fide molecular chaperones and their functions in mouse class I biogenesis are largely interchangeable**

2nd International Workshop on Antigen Processing and Presentation (1999.10)

* University of Toronto

斎藤嘉朗, 高木加代子, 手島玲子, 池淵秀治, 山崎 壮, 澤田純一: 成長ホルモン結合蛋白放出促進における細胞外キナーゼの関与

日本薬学会第120年会 (2000.3)

高木加代子, 斎藤嘉朗, 蜂須賀暁子, 澤田純一: **Ba/F3-hGHR細胞におけるヒト成長ホルモン受容体の分解機構について**

第72回日本生化学会 (1999.10)

奥貫晴代, 都筑智子, 手島玲子, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武, 澤田純一, 荒見真一郎*, 三浦裕仁*, 日野明寛*: **HPLCによるシキミ酸経路関連酵素の活性測定法の検討**

第72回日本生化学会 (1999.10)

* 農水省食品総合研究所

鈴木 亮*¹, 古野忠秀*¹, 手島玲子, McKay, D. M.*², Bienestock, J.*², 中西 守*¹: **神経節初代培養細胞と肥満細胞の相互作用の研究**

第72回日本生化学会 (1999.10)

*¹ 名古屋市立大学薬学部

*² MacMaster University

手島玲子, 小野瀬淳一*¹, 池淵秀治, 木谷誠一*², 澤田純一: **エクソキナーゼ基質ペプチドによるRBL-2H3細胞からの脱顆粒の抑制**

第72回日本生化学会 (1999.10)

*¹ 明治薬大

*² 東京大学医学部

山口正雄*¹, 飯倉元保*¹, 宮増美里*¹, 関谷 剛*¹, 泉信有*¹, 山田浩和*¹, 山本一彦*¹, 長瀬洋之*¹, 中島敏浩*¹, 平井浩一*¹, 手島玲子, 羅智靖*²: **デキサメゾン (DEX)によるマスト細胞表面のIgE受容体 (Fc RI) 発現量の減少**

第49回日本アレルギー学会総会 (1999.10)

*¹ 東京大学医学部

*² 順天堂大学医学部

手島玲子, 小野瀬淳一*¹, 奥貫晴代, 澤田純一: **マスト細胞からのMCP-1産生機構について**

第49回日本アレルギー学会総会 (1999.10)

* 明治薬大

鈴木 亮*¹, 森 尚子*¹, 古野忠秀*¹, 手島玲子, Bienestock, J.*², 中西 守*¹: **神経節初代培養細胞とRBL-2H3細胞の相互作用: 逆反応の追求とCD63-GFPの利用**

第29回日本免疫学会総会 (1999.12)

*¹ 名古屋市立大学薬学部

*² MacMaster University

手島玲子, 小野瀬淳一*¹, 奥貫晴代, 澤田純一: **培養マスト細胞からのカルシウム濃度上昇に伴う各種サイトカイン産生について**

第6回免疫毒性研究会 (1999.9)

* 明治薬大

手島玲子, 穂山 浩, 奥貫晴代, 佐久嶋順一郎, 合田幸広, 小野寺博志, 澤田純一, 豊田正武: **遺伝子組換え, 非組換え大豆のマウス, ラットへの混飼投与による免疫系への影響**

日本薬学会第120年会 (2000.3)

M. Yamaguchi*¹, M. Iikura*¹, M. Miyamasu*¹, H. Nagase*¹, K. Hirai*¹, Y. Fuyumoto*¹, C. Ra*², R. Teshima, S. J. Galli*³, K. Yamamoto*¹: **Glucocorticoids Decreases the Levels of Surface Fc RI Expression in Mouse Mast Cells**

56th Amer. Academy Allergy Asthma Immunol. (2000.3)

*¹ University of Tokyo

*² Juntendo University

*³ Stanford University

松井幸子*, 安達玲子, 永石恵子*, 山口照英, 早川堯夫, 笠原忠*, 鈴木和博: **白血球の活性化時におけるコフィリンの動態変化と蛋白質リン酸化酵素の関与**

第20回日本炎症学会 (1999.7)

* 共立薬科大学

Kiriakis, H.*¹, Schmidt, A.*¹, Sato, Y., Kranias, E.G.*¹ and Hoit, B.D.*²: **Effects of aging on mouse hearts with cardiac-specific overexpression of murine cardiac calsequestrin**

3rd Annual Scientific Meeting, Heart Failure Society of America (1999.9)

*¹ University of Cincinnati, U.S.A.

*² Case Western Reserve University, U.S.A.

Carr, A.N.*¹, Suzuki, Y.*², Sato, Y., Schmidt, A.*¹, Kadambi, V.J.*¹, Hoit, B.D.*³, Grupp, I.L.*¹, Jing, S-L.*², Field, L.J.*², DePaoli-Roach, A.*² and Kranias, E.G.*¹: **Cardiac-specific overexpression of the sarcoplasmic reticulum and glycogen targeting subunit of the type I phosphatase does not result in altered cardiac contractility**

3rd Annual Scientific Meeting, Heart Failure Society of America (1999.9)

*¹ University of Cincinnati, U.S.A.

*² Indiana University, U.S.A.

*³ Case Western Reserve University, U.S.A.

Carr, A.N.*¹, Sato, Y., Neirouz, Y.*¹, Schmidt, A.*¹, Hoit, B.D.*², Grupp, I.L.*¹, Allen, P.B.*³, Greengard, P.*³ and Kranias, E.G.*¹: **Protein phosphatase inhibitor-1 ablation results in depressed cardiac contractility in response to beta-adrenergic stimulation and decreased phosphorylation of phospholamban**

3rd Annual Scientific Meeting, Heart Failure Society of America (1999.9)

*¹ University of Cincinnati, U.S.A.

*² Case Western Reserve University, U.S.A.

*³ The Rockefeller University, U.S.A.

Vukmirica, J.*¹, Nishimaki-Mogami, T., McLeod, R. S.*², and Yao, Z.*¹: **Functional analysis of the role of N-linked glycosylation of apoB in lipoprotein assembly and secretion.**

72nd Scientific Sessions, American Heart Association (1999.11)

*¹ University of Ottawa Heart Institute, Canada

*² Dalhousie University, Canada

Carr, A.N.*¹, Sato, Y., Neirouz, Y.*¹, Schmidt, A.*¹, Hoit, B.D.*², Grupp, I.L.*¹, Allen, P.B.*³, Greengard, P.*³ and Kranias, E.G.*¹: **Gene ablation of protein phosphatase inhibitor-1 is associated with depressed cardiac contractility and decreased phospholamban phosphorylation**

72nd Scientific Sessions, American Heart Association (1999.11)

*¹ University of Cincinnati, U.S.A.

*² Case Western Reserve University, U.S.A.

*³ The Rockefeller University, U.S.A.

藤森親之助：安全性薬理試験に対する考え方と取り組み方
第4回医薬品開発基礎研究会学術集会 (1999.11)

松井幸子*, 安達玲子, 楠井薫, 山口照英, 早川堯夫, 笠原 忠*, 鈴木和博：マクロファージ様 U937細胞の活性化におけるコフィリンの動態とリン酸化酵素の関わりについて

日本免疫学会総会・学術集会 (1999.12)

* 共立薬科大学

藤森親之助：ICH安全性薬理試験ガイドラインとその動向
日本QA研究会GLP部会 (2000.2)

Sato, Y., Kiriazis, H.*¹, Mitarai, S.*¹, Yatani, A.*¹, Dorn, G.W. 2nd*¹ and Kranias, E.G.*¹: **Restoration of contractile parameters in caldesmon overexpressing myocardium by phospholamban ablation**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

* University of Cincinnati, U.S.A.

最上 (西巻) 知子, 木下真澄, 佐藤陽治, 藤森親之助：アポB48含有VLDL形成・分泌過程でのMTP (microsomal triglyceride transfer protein) の役割

日本薬学会第120年会 (2000.3)

安住聡子, 室井正志, 棚元憲一：ヒトマクロファージのサルモネラ型リビドA不応答性

第5回日本エンドトキシン研究会 (1999.11)

室井正志, 大西貴弘, 安住聡子, 棚元憲一：サルモネラリビドAの細胞活性化における動物種特異性の分子機構

第73回日本細菌学会総会 (2000.5)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一：内毒素によるNF- κ B活性化におけるCD14分子の機能的領域の探索

第73回日本細菌学会総会 (2000.5)

安住聡子, 大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一：エンドトキシンアンタゴニストの活性発現におけるLBPの役割

第73回日本細菌学会総会 (2000.5)

Michiko Miyahara, Koukichi Gotoh*¹, Hiroyuki Masaki*², Akinobu Saitoh*², Seiji Kaneko*³, Takashi Masuda*⁴, Hiroataka Konuma: **Detection Methods for *Escherichia coli* O157 and**

Salmonella from fresh fruits and Vegetables

113th AOAC International Annual Meeting and Exposition (1999.9)

*¹新潟県食肉衛生検査センター

*²埼玉県衛生研究所

*³東京都衛生研究所

*⁴静岡県環境衛生科学研究所

宮原美知子, 後藤公吉*¹, 正木宏幸*², 斉藤章暢*², 金子誠二*³, 増田高志*⁴, 小沼博隆：農産物の病原微生物汚染の検討

第20回食品微生物学会学術総会 (1999.10)

*¹新潟県食肉衛生検査センター

*²埼玉県衛生研究所

*³東京都衛生研究所

*⁴静岡県環境衛生科学研究所

宮原美知子, 小沼博隆：腸管出血性大腸菌O157志賀毒素産生遺伝子とその下流域のDNA塩基配列の検討

第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

宮原美知子, 小沼博隆, 菊井美里*, 丸山 務*：野菜と果物からの *Listeria monocytogenes* 検出方法

日本薬学会第120年会 (1999.3)

* 麻布大学

宮原美知子, 小沼博隆, 長谷川敦子*¹, 西本憲司*², 中島誠人*³, 山田順一*³, 熊谷 進*⁴：調理用オーブンによるハンバーグ調理加熱での腸管出血性大腸菌O157の消長と関連要因

日本防菌防霉学会第27年次大会 (1999.5)

*¹東京サラヤ(株)

*²グンゼ産業(株)

*³日本食品加工協会

*⁴国立感染症研究所

宮原美知子, 小沼博隆：腸管出血性大腸菌志賀毒素2 (Stx2) 産生遺伝子及びその下流域のDNA配列による解析

第73回日本細菌学会総会 (1999.5)

小沼博隆：野菜における微生物汚染状況とその対策

日本食品微生物学会公開シンポジウム (1999.12)

工藤由起子*¹, 熊谷 進*¹, 大塚佳代子*², 正木宏幸*², 後藤公吉*³, 増田高志*⁴, 田中廣行*⁵, 丹野憲二*⁵, 宮原美知子, 小沼博隆：卵からのサルモネラ・エンテリティディスの検出法の検討

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

*¹国立感染症研究所

*²埼玉県衛生研究所

*³新潟県食肉衛生検査センター

*⁴静岡県環境衛生科学研究所

*⁵日本食品分析センター

小沼博隆, 宮原美知子, 大塚佳代子*¹, 正木宏幸*¹, 後藤公吉*², 増田高志*³, 工藤由起子*⁴, 熊谷 進*⁴：卵からのサルモネラ・エンテリティディスの検出法の検討

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

*¹埼玉県衛生研究所

*²新潟県食肉衛生検査センター

*³静岡県環境衛生科学研究所

*4 国立感染症研究所

小西良子*, 伊藤嘉典*, 岩城正昭*, 春日文字*, 工藤由起子*, 齊藤典子*, 野口洋子*, 小沼博隆: 実験的汚染かいわれ大根中の腸管出血性大腸菌 O157:7

第20回日本食品微生物学会学術総会 (1999.10)

* 国立感染症研究所

富川ゆり子*, 仁科徳啓*, 小澤一宏*, 浅川豊*, 小沼博隆: 酵素基質等による検出試薬 (リトザイム) のスクリーニング試験としての有用性

第20回日本食品微生物学会学術総会 (1999.10)

* (株)中部検査センター

齊藤章暢*, 大塚佳代子*, 正木宏幸*, 小野一晃*, 瀬川由加里*, 岸本 剛*, 小沼博隆: 農産物の各種汚染指標菌の検討損傷 腸管出血性大腸菌 O157 の検出法; 接種実験

第20回日本食品微生物学会学術総会 (1999.10)

* 埼玉県衛生研究所

工藤由起子*¹, 熊谷 進*², 田中廣行*³, 丹野憲二*³, 後藤公吉*⁴, 増田高志*⁵, 大塚佳代子*⁶, 正木宏幸*⁶, 宮原美知子, 小沼博隆: 卵からの *Salmonella Enteritidis* の検出方法の検討

第129回日本獣医学会学術集会 (2000.4)

*¹ 国立感染症研究所

*² 東京大学

*³ 日本食品分析センター

*⁴ 新潟県食肉衛生検査センター

*⁵ 静岡県環境衛生科学研究所

*⁶ 埼玉県衛生研究所

工藤由起子*¹, 中川 弘*², 後藤公吉*³, 増田高志*⁴, 小沼博隆, 熊谷 進*⁵: 食品からの腸管出血性大腸菌 O26 の検出方法の検討

第129回日本獣医学会学術集会 (2000.4)

*¹ 国立感染症研究所

*² 財団法人東京顕微鏡院

*³ 新潟県食肉衛生検査センター

*⁴ 静岡県環境衛生科学研究所

*⁵ 東京大学

工藤由起子*¹, 小沼博隆, 小高秀正*², 池戸正城*³, 小島楨*³, 中川 弘*⁴, 後藤公吉*⁵, 熊谷 進*⁶: 凍結損傷腸管出血性大腸菌 O157:H7 の検出方法の検討

第129回日本獣医学会学術集会 (2000.4)

*¹ 国立感染症研究所

*² 日本製薬株式会社

*³ 栄研化学株式会社

*⁴ 財団法人東京顕微鏡院

*⁵ 新潟県食肉衛生検査センター

*⁶ 東京大学

仁科徳啓*¹, 小沼博隆, 杉山寛治*², 熊谷 進*³: 低温領域における *Vibrio parahaemolyticus* の増殖態度

第129回日本獣医学会学術集会 (2000.4)

*¹ 東海大学

*² 静岡県環境衛生科学研究所

*³ 東京大学大

小沼博隆: 調理施設と食品製造における衛生管理に関する研究

日本防菌防黴学会第3回食品微生物制御研究部会 (2000.2)

酒井綾子, 菊池 裕, 増井 徹, 水澤 博, 室井正志, 内田恵理子, 棚元憲一, 降旗千恵*: 発癌プロモーターの作用で発現が変化する遺伝子の検索

日本薬学会第120年会 (2000.3)

* 青山学院大理工

松谷佐知子: 反復配列の遺伝子発現機構

第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

菊池 裕, 山崎 壮, 今沢 孝喜, 武木田 薫*, 西川秋佳, 高鳥 浩介, 谷村 顕雄*, 澤田 純一: 正常プリオンタンパク質のヒト, グリオーマ細胞における細胞内分布の解析

第72回生化学会 (1999.10)

* 昭和女子大

武木田薫*¹, 菊池 裕, 山崎 壮, 藤沢正彦*², 品川森一*³, 高鳥浩介, 谷村顕雄*¹, 澤田純一: プリオンタンパクのイムノアッセイ法の開発 (1) 抗PrP抗体の作製及び比較

第120年会日本薬学会 (2000.3)

*¹ 昭和女子大

*² 東大・農

*³ 帯広畜産大

Nakata, K., Nakano, T., and Kaminuma, T.: Application of the Receptor Database (RDB) to the Endocrine Disruptor Problem.

The 2nd International Workshop on Advanced Genomics (1999.4)

中野達也, 神沼二真, 上林正巳*¹, 佐藤智之*², 秋山泰*³, 北浦和夫*⁴: Ab initio ベア近似法による分子計算プログラムの開発

1999 計算化学討論会 (1999.5)

*¹ 通産省工業技術院 生命工学工業技術研究所

*² 株式会社富士総合研究所

*³ 電子技術総合研究所 知能情報部

*⁴ 大阪府立大学総合科学部

Kaminuma, T., Takai-Igarashi, T., Nakano, T., and Nakata, K.: Information and Computing Infrastructure for Endocrine Disruptors

The Third KFDA International Symposium (1999.6)

Kaminuma, T., Takai-Igarashi, T., Nakano, T., and Nakata, K.: Modeling of Signaling Pathways for Endocrine Disruptors IPCAT (1999.8)

Nakata, K., Nakano, T., and Kaminuma, T.: Hormone Receptors in the Receptor Database (RDB).

XIII International Biophysics Congress (1999.9)

中野達也, 神沼二真, 上林正巳*¹, 佐藤智之*², 秋山泰*³, 北浦和夫*⁴: Ab initio ベア近似法による巨大分子計算プログラムの開発

分子構造総合討論会 (1999.9)

*¹ 通産省工業技術院 生命工学工業技術研究所

*² 株式会社富士総合研究所

*3 電子技術総合研究所知能情報部

*4 大阪府立大学総合科学部

Sekizawa, J, Imai, K.*, Ohya, Y.: Uncertainty analysis of dioxin toxicity -its implication to human risk assessment

Dioxin '99 19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (1999.9)

* 食品薬品安全センター秦野研究所

神沼二真, 中野達也, 高井貴子, 大竹千代子, 瀧 明子, 山本美智子, 山本 都, 長谷川式子, 小峰 啓, 中田琴子: 内分泌かく乱物質のデータ知識ベース
第25回環境トキシコロジーシンポジウム (1999.10)

大竹千代子, 蕪山典子, 神沼二真: 東アジアの水系における環境汚染物質の表示システム
第25回環境トキシコロジーシンポジウム (1999.10)

Sekizawa, J.: Integrated approach for the risk assessment on chemicals - case studies on endocrine disruptors

2nd Pan Pacific Conference on Pesticide Science (1999.10.)

関沢純: 現状の汚染レベルをどう考えるか
ダイオキシン問題を考えるシンポジウム (1999.9)

関沢純: 内分泌攪乱化学物質のリスク評価における統合的なリスク評価へのアプローチ
日本リスク研究学会, 第12回研究発表会 (1999.11)

関沢純: リスクマネジメントについて
第4回西日本環境ホルモン研究会 (1999.12)

関沢 純: リスクコミュニケーションとは何か
これからのリスクコミュニケーションセミナー
日本リスク研究学会 (1999.12)

Sekizawa, J.: Benchmark dose estimation for reproductive and developmental effects of dioxins.

日本内分泌攪乱化学物質学会 (環境ホルモン学会)(1999.12)

Sekizawa, J., Suter, G.*1, Vermeire, T.*2 and Munns, W.*3: An example of integrated approach for health and environmental risk assessment: case of organotin compounds.

The 3rd IWA Specialized Conference on Hazard Assessment and Control of Environmental Contaminants -ECOHazard '99 (1999.12)

*1 National Center for Environmental Assessment, US Environmental Protection Agency, USA

*2 National Institute of Public Health and the Environment, The Netherlands

*3 National Health and Environmental Effects Research Laboratory, US Environmental Protection Agency, USA

関沢純: リスクコミュニケーションと情報公開
第6回情報ネットワーク講演会 (2000.1)

中野達也, 神沼二真, 上林正巳*1, 佐藤 智之*2, 秋山泰*3, 北浦和夫*4: **Ab initio**ベア近似法による巨大分子計算プログラムの開発2

第22回情報化学討論会 (1999.11)

*1 通産省工業技術院 生命工学工業技術研究所

*2 株式会社富士総合研究所

*3 電子技術総合研究所 知能情報部

*4 大阪府立大学総合科学部

神沼二真, 大竹千代子, 蕪山典子: 東アジア地域の化学物質による環境汚染データ表示
環境科学 (1999.11)

大竹千代子, 伊藤尚史*1, 高田秀重*2, 間藤ゆき枝*3, 兼広春之*4, 神沼二真: 漂着レジンペレットの分類と成分の分析 第3報
環境科学 (1999.11)

*1 旭化成工業(株) 品質保証総括部

*2 東京農工大学農学部水環境保全学科

*3 東京農工大学農学部水環境保全学科

*4 東京水産大学水産学部海洋生産学科

Kaminuma, T.: Information Network for Risk Assessment and Risk Management

The Fourth Princess Chulabhorn International Science Congress (1999.11)

高井貴子, 神沼二真: 生体分子のシグナル伝達ネットワークデータベースの開発
第22回日本分子生物学会年回 (1999.12)

高井貴子, 神沼二真: 化学物質の安全性情報に役立つ全文検索システムについて
地域保健のためのインターネット研究会 (1999.11)

Takai-Igarashi, T. and Kaminuma, T.: Cell signaling networks database

3rd Joint Meeting for Signal Transduction Society (1999.12)

Nakata, K., Takai-Igarashi, T. and Kaminuma, T.: Receptor Database (RDB)

Genome Informatics 1999 (1999.12)

神沼二真, 中田琴子, 中野達也, 高井貴子, 山本 都, 大竹千代子, 瀧 明子, 山本美智子, 長谷川式子, 小峰啓: 内分泌かく乱物質研究の情報計算基盤の構築
日本内分泌攪乱化学物質学会 (環境ホルモン学会)(1999.12)

中田琴子, 中野達也, 高井貴子, 神沼二真: 内分泌攪乱化学物質と受容体データベース
日本内分泌攪乱化学物質学会 (環境ホルモン学会)(1999.12)

神沼二真, 高井貴子: 細胞内シグナル伝達系のデータベースについて
第18回サイトプロテクション研究会 (2000.2)

神沼二真: ゲノム研究の医薬品適正使用へのインパクト
日本薬学会 1120年会シンポジウム (2000.3)

黒木由美子*1, 田村満代*1, 後藤京子*1, 大橋教良*2, 吉岡敏治*1, 山本 都: 1998年に日本中毒情報センターで受信した中毒事件とJPIC対応実態調査
第21回日本中毒学会, 東京 (2000.7)

*1 (財)日本中毒情報センター

*2 筑波メディカルセンター病院

山本 都：健康危機管理体制における国立衛研での役割と対応
第36回全国衛生化学技術協議会，福岡（1999.11）

山本 都：健康危機管理と情報における地方衛生研究所および国立衛研の連携
第13回公衆衛生情報研究協議会研究会，広島（2000.2）

黒川雄二：ダイオキシンの耐容一日摂取量について
日本薬学会九州支部主催コロキウム，福岡（1999.10）

黒川雄二：医薬品及び動物用医薬品毒性試験ガイドラインの現況
第129回日本獣医学会公衆衛生シンポジウム，つくば（2000.4）

平林容子，淀井淳司*，菅野 純，尹 秉一，内田雄幸，梅村隆志，黒川雄二，井上 達：Thioredoxin/Adult T-cell leukemia derived factor (Trx/ADF) 遺伝子改変マウス造血前駆細胞の紫外線抵抗性
第89回日本病理学会総会（2000.4）
* 京都大学ウイルス研究所

平林容子，高木篤也，尹 秉一，井上 達：Mn-SOD 遺伝子欠失マウス由来の造血前駆細胞の紫外線に対する影響
第62回日本血液学会総会（2000.3.）

吉田和子*，平林容子，井上 達：p53 遺伝子欠失マウスに発症する放射線誘発白血病と造血幹細胞の放射線感受性について
第62回日本血液学会総会（2000.3）
* 放射線医学総合研究所

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T., Kanno, J., Saga, Y. and Inoue, T.: The mechanism of benzene-induced hemopoietic toxicity: Inhibition of cell cycle.
第22回日本分子生物学会年会（1999.12）

Kawasaki, Y., Yoon, B.I., Kaneko, T., Hirabayashi, Y., Kodama, Y. and Inoue, T.: Leukemogenesis by benzene inhalation in p53 deficient mice
American Society of Hematology Forty-First Annual meeting（1999.12）

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kodama, Y., Yodoi, J.* and Inoue, T.: Hemopoietic stem cells carrying Trx/ADF transgene were protective from oxidative stressors.
American Society of Hematology Forty-First Annual meeting（1999.12）
* 京都大学ウイルス研究所

壺井 功，森本幸治，斉藤 孝*¹，平林容子，森 和博*²，井上 達：若齢・加齢老化促進モデルマウス（SAM）のアンドロゲン投与による造血反応の比較
第16回日本疾患モデル学会総会（1999.11）
¹ 日本大学医学部
² 新潟大学理学部

平林容子，高木篤也，児玉幸夫，菅野 純，黒川雄二，井上 達：Mn-SOD 遺伝子導入マウス骨髄細胞での紫外線抵抗性

第58回日本癌学会総会（1999.10）

Hirabayashi, Y., Yoon B.I., Kodama, Y., Yodoi, J.* and Inoue, T.: Hemopoietic stem cells carrying Trx/ADF transgene were protective from oxidative stressors.
日本研究皮膚科学会第24回年次学術大会（1999.7）
* 京都大学ウイルス研究所

Hirabayashi, Y., Takagi, A., Yoon, B.I., Kodama, Y., Yoshida, K.* and Inoue, T.: Resistance to ultraviolet irradiation in the hemopoietic colony-formation of the transgenic mice expressing Mn-SOD introduced
Eleventh International Congress of Radiation Research（1999.7）

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T., Kanno, J., Matsushima, Y., Umemura, T., Uchida, O., Kurokawa, Y. and Inoue, T.: Benzene hemopoietic toxicity revisited a new concept
第26回日本トキシコロジー学会学術年会（1999.7）

Ono, A., Kanno, J. and Inoue, T.: Mechanism based high through put screening method for endocrine disrupting chemicals (EDCs) using bio-sensor
2nd European Workshop 99 International Molecular Toxicology（1999.9）

Ono, A., Kanno, J. and Inoue, T.: Conformational changes on ERα induced by endocrine disrupting chemicals (EDCs)
2000 Keystone Symposia on Molecular & Cellular Biology: Nuclear Receptors 2000（2000.3）

Sai, K.: Green tea: Its biologically suppressing effects during the hepatocarcinogenesis induced by pentachlorophenol –A possible implication for interaction of green tea components with endocrine disruptors–
The 5th International Symposium on Green Tea（1999.5）

Sai, K., Upham, B. L.*¹, Kang, K.-S.*², Hasegawa, R., Trosko, J. E.*¹ and Inoue, T.: Pentachlorophenol inhibits gap junctional intercellular communication in rat liver epithelial cells
1999 International Gap junction Conference（1999.9）
¹ Michigan State University, U.S.A.
² Seoul National University

佐井君江，菅野 純，黒川雄二，井上 達：Pentachlorophenolの肝培養細胞におけるアポトーシス阻害作用ならびにギャップ結合細胞間連絡阻害との関連
第58回日本癌学会総会（1999.9）

Sai, K., Trosko, J. E.* and Inoue, T.: Pentachlorophenol-induced down-regulation of gap junctional intercellular communication was ameliorated by (-)-epigallocatechin gallate in rat liver epithelial cells
Epigenetic Toxicant-Induced Signal Transduction and Altered Cell-Cell Communication（1999.10）
* Michigan State University

Upham, B. L.*, Chem, G.*, Voges, A.*, Sai, K. and Trosko, J. E.*: The inhibition of gap junctional intercellular communication and the activation of MAPK by methylated anthracenes with specific structures.

Epigenetic Toxicant-Induced Signal Transduction and Altered Cell-Cell Communication (1999.10)

* Michigan State University

Upham, B. L.*, Sai, K., Tithol, P. K.*, Chen, G.*, Wilson, W. R.* and Trosko, J. E.*: **Inhibition of gap junctional intercellular communication, activation of MAPK, and the release of arachidonic acid by specific isomers of methylated anthracenes**
Society of Toxicology 39th Annual Meeting (2000.3)

* Michigan State University

相賀裕美子, 村井直美^{*1}, 武田洋幸^{*2}, 井上 達: **MesP1, MesP2 ダブル欠損マウスの解析**
第32回日本発生生物学学会 (1999.5)

^{*1}万有製薬つくば研究所

^{*2}国立遺伝学研究所

高橋 雄, 北嶋 聡, 高木篤也, 井上 達, 相賀裕美子: **体節形成における Notch シグナリングと Mesp2 遺伝子の関係: 活性化型 Notch1 ノックインによる解析**
第32回日本発生生物学学会 (1999.5)

澤田篤志^{*1}, Andreas Fritz^{*2}, Yun-Jin-Jiang^{*3}, 山本朗仁^{*4}, 弥益 恭^{*5}, 黒岩 厚^{*1}, 相賀裕美子, 武田洋幸^{*6}: **ゼブラフィッシュ体節形成における Mesp family 遺伝子の機能**
第32回日本発生生物学学会 (1999.5)

^{*1}名古屋大学理学部

^{*2}Emory University

^{*3}Imperial Cancer Research Fund

^{*4}Howard Hughes Medical Institute, UCLA

^{*5}埼玉大学理学部

^{*6}国立遺伝学研究所

北嶋 聡, 高木篤也, 井上 達, 相賀裕美子: **転写因子 MesP1, MesP2 の初期中胚葉形成に果たす機能**
第22回日本分子生物学学会年会 (1999.12)

原口清輝, 井上 達, 相賀裕美子: **Mesp1, Mesp2 遺伝子のエンハンサー解析**
第22回日本分子生物学学会年会 (1999.12)

Byung-Il Yoon, 平林容子, 川崎 靖, 児玉幸夫, 金子豊蔵, 菅野 純, 相賀裕美子, 井上 達: **ベンゼンの造血障害発生メカニズムとしての細胞周期抑制について**
第22回日本分子生物学学会年会 (1999.12)

高木篤也, 北嶋 聡, 相賀裕美子, 嵩原昇子*, 久郷裕之*, 押村光雄*, 井上 達: **HLA 遺伝子座導入トランスジェニックマウスの作製**
第22回日本分子生物学学会年会 (1999.12)

* 鳥取大学医学部

Saga, Y.: **Function of bHLH factors, MesP1 and MesP2 during gastrulation and somite segmentation**
Molecular Genetics of Muscle Development and Neuromuscular Diseases (1999.9)

Saga, Y., Kitajima, S., Takagi, A., Takeda, H.* and Inoue, T.: **Mesp1 and Mesp2 double deficiency result in loss of the paraxial mesoderm and posterior neural tissues**
Congress of the European Developmental Biology Organisation

in co-operation with the International Society of Developmental Biologists (1999.6)

* 国立遺伝学研究所

Kitajima, S., Takagi, A., Hirabayashi, Y., Saga, Y. and Inoue, T.: **Testicular cell sorting, using flowcytometry, to establish molecular markers as a tool for lineage specific characterization**
2nd European Workshop, 99 Molecular Toxicology (1999.9)

Kitajima, S., Momma, J.* and Inoue, T.: **Reactivities of the skin-sensitization test in guinea pig (GPM) is a function of three parameters; induction doses (MID), challenge doses (SCD), and direct exposures (DED)**
1999 conference, Toxicology for the next millennium (1999.9)

* 医薬品機構

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Ogawa, Y., Kanno, J., Inoue, T. and Kaneko, T.: **The oscillating recovery in cellularity of the bone marrow and CFU-GMs after intraperitoneal 2,3,7,8-tetrachloro-dibenzo-dioxin (TCDD) DIOXIN99** (1999.9)

脇園亮子^{*1}, 松田春甫^{*1}, 宮永貞子^{*1}, 小林宏至^{*1}, 吉川雄二^{*1}, 和田友則^{*1}, 中野美代子^{*1}, 三好秀征^{*1}, 森山義和^{*1}, 大橋健一^{*2}, 菅野 純: **抗リン脂質抗体症候群 (APS) を合併した自己免疫性肝炎 (AIH) の1症例**
第85回日本消化器病学会総会 (1999.4)

^{*1}三楽病院

^{*2}東京医科歯科大学病院

菅野 純: **内分泌攪乱化学物質の生体影響メカニズムとスクリーニング法**
平成11年度北里大学薬学部公開教育講座 (1999.11)

大野泰雄: **臨床試験との関係における非臨床試験の役割**
金沢大学薬学部特別講演会 (1999.4)

倉田知光^{*1}, 西村有希^{*1}, 岩瀬万里子^{*1}, 李 華^{*1}, 鈴木 聡^{*2}, 伊藤洋二^{*3}, 草野満夫^{*3}, 佐藤哲男^{*2}, 大野泰雄, 内田英二^{*1}, 安原 一^{*1}: **ヒト肝薬物代謝酵素活性評価 一手術材料の有用性と信頼性に関する検討 (I) 一**
第6回 HAB 協議会学術年会 (1999.5) 東京

^{*1}昭和大学医学部第二薬理学教室

^{*2}HAB 協議会霊長類機能研究所

^{*3}昭和大学医学部第二外科学教室

鈴木 聡^{*1}, 倉田知光^{*2}, 西村有希^{*2}, 岩瀬万里子^{*2}, 李 華^{*2}, 伊藤洋二^{*3}, 草野満夫^{*3}, 佐藤哲男^{*1}, 大野泰雄, 内田英二^{*2}, 安原 一^{*2}: **ヒト肝薬物代謝酵素活性評価 一手術材料の有用性と信頼性に関する検討 (II) 一**
第6回 HAB 協議会学術年会 (1999.5) 東京

^{*1}HAB 協議会霊長類機能研究所

^{*2}昭和大学医学部第二薬理学教室

^{*3}昭和大学医学部第二外科学教室

大野泰雄: **臨床薬物動態試験および薬物相互作用ガイドライン検討の現状報告**
薬物動態談話会 (1999.6)

Ohno, Y.: **A Regulatory Acceptance of alternative tests for cosmetic ingredients: An MHW Perspective**

3rd International Congress on Alternatives to Animal Experiments (1999.9)

Ohno, Y.: **A Draft of Japanese Guidance for Drug Interactions: *In Vitro* and *in Vivo* Assessment**

3rd international Conference on Drug Interaction (1999.10) 浜松

大野泰雄: **ダイオキシンの毒性とトキシコキネティクス**
日本化学会環境と化学推進委員会第10回環境化学講演会 (1999.11)

大野泰雄: **米国・日本における皮膚毒性評価の現状**
第13回日本動物実験代替法学会 (1999.11)

Ohno, Y.: **Japanese Draft Guidance for Drug Interaction Studies**

American Association of Pharmaceutical Scientists (1999.12)

Koizumi, S., Bootman, M.D.*¹, Bobanovic, L.K.*¹, Schell, M.J.*², Berridge, M.J.*¹ and Lipp, P.*¹: **Characterisation of elementary Ca²⁺ release signals in NGF-differentiated PC-12 cells and hippocampal neurones**

Annual Meeting of Physiological Society in German (1999.5)

*¹ Babraham Institute

*² University of Cambridge

Bootman, M.D.*¹, Koizumi, S., Bobanovic, L.K.*¹, Schell, M.J.*², Berridge, M.J.*¹ and Lipp, P.*¹: **The elementary principles of Ca²⁺ release in neurones**

Annual Meeting of Physiological Society in German (1999.5)

*¹ Babraham Institute

*² University of Cambridge

小泉修一, 井上和秀: **神経系細胞におけるストア作動性カルシウム流入と神経伝達物質放出**
日本神経科学会 (1999.7)

小泉修一, 井上和秀: **神経系細胞におけるCa²⁺遊離の基本要因の解明**
第42回日本神経化学会 (1999.9)

Koizumi, S., Bootman, M.D.*¹, Bobanovic, L.K.*¹, Schell, M.J.*², Berridge, M.J.*¹, Lipp, P.*¹, and Inoue, K.: **Characterisation of elementary Ca²⁺ release signals in NGF-differentiated PC-12 cells and hippocampal neurones**

Annual Meeting of Society for Neuroscience (1999.10)

*¹ Babraham Institute

*² University of Cambridge

小泉修一, Bootman, M.D.*¹, Lipp, P.*¹, Berridge, M.J.*¹, 井上和秀: **PC12細胞リアノジン受容体からの段階的カルシウム遊離起序の解明**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

* Babraham Institute

津田 誠, 上野伸哉*, 井上和秀: **ラット足底部へのP2X受容体作動薬投与により誘発された痛覚過敏反応**
第29回日本神経精神薬理学会年会 (1999.9)

* 福岡大学医学部

井上和秀, 津田 誠, 上野伸哉*: **痛覚伝達系における**

P2X受容体の役割

第42回日本神経化学会大会ワークショップ (1999.9)

* 福岡大学医学部

本田静世*, 大沢圭子*, Lopez-Redondo F*, 井上和秀, 高坂新一*: **神経再生とミクログリアの活性化-ATPによるラッフル形成の促進**

第42回日本神経化学会大会ワークショップ (1999.9)

* 国立精神神経センター

田中将也*¹, 鈴木智久*¹, 井上敦子*¹, 秀和泉*¹, 井上和秀, 高坂新一*², 仲田義啓*¹: **細胞外ATPによるラット脳ミクログリアのTNF-α産生遊離**

第42回日本神経化学会大会 (1999.9)

*¹ 広島大学医学部

*² 国立精神神経センター

Inoue, K., Ueno, S., Tsuda, M., Kita, A. and Koizumi, S.: **ATP-evoked inhibition of glutamate release and facilitation of GABA release from cultured hippocampal neurons**

16th International Society for Neurochemistry Meeting (1999.8)

井上和秀: **ATPによる神経伝達物質放出の制御**

第52回日本自律神経学会総会シンポジウム (1999.11)

津田 誠, 井上和秀: **P2X受容体と痛み**

第73回日本薬理学会年会 シンポジウム (2000.3)

喜多 彩, 小泉修一, 津田 誠, 上野伸哉*¹, 小浜とも子, 川島紘一郎*², 井上和秀: **ラット培養海馬神経細胞におけるATPによるグルタミン酸神経伝達抑制メカニズムの解明**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

*¹ 福岡大学医学部

*² 共立薬科大学

重本由香里, 小泉修一, 高坂新一*, 井上和秀: **マウスミクログリア細胞株(MG5)からの細胞外ATP刺激によるIL-6産生機構の解明**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

* 国立精神神経センター

津田 誠, 井上和秀: **ラットを用いた術後痛モデルにおけるP2受容体拮抗薬PPADSの効果**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

富岡昭裕*¹, 上野伸哉*², 喜多 彩, 桂木 猛*², 小浜一弘*¹, 井上和秀: **揮発性麻酔薬はHEK293細胞に発現させたP2X4受容体チャンネルを増強する**

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

*¹ 群馬大学医学部

*² 福岡大学医学部

Sato, K., Matsuki, N.*: **HSP70 protects CA1 selective damage and may serve as a factor underlying the selective vulnerability**
The 29th Annual Meeting Society for Neuroscience (1999.10)

* 東京大学薬学部

中澤憲一, 大野泰雄, North, R.A.*¹, Surprenant, A.*²: **P2X2受容体チャンネル孔変異体のカルシウム透過性**
第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

*¹The University of Sheffield

佐藤薫, 中澤憲一, 松木則夫*, 大野泰雄: エストロゲン及びその類縁物質の中樞神経細胞生存に対する効果-培養海馬切片を用いた検討

第73回日本薬理学会年会 (2000.3)

* 東京大学薬学部

小澤正吾, 加藤貴彦*, 稲富久人*, 松本哲朗*, 大野泰雄: ヒトフェノール硫酸転移酵素, アリルアミンN-アセチル転移酵素の遺伝子多型と尿路上皮癌感受性

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

* 産業医科大学

小澤正吾, 清水万紀子¹, 松本宜明¹, 福岡正道¹, 加藤貴彦², 大野泰雄: ヒト組織フェノール硫酸転移酵素の遺伝子多型と多型分子種の性質

第119日本薬物動態学会年会 (1999.10)

¹ 昭和薬科大学 (国立衛研・研究生)

² 産業医科大学

小澤正吾: ヒト末梢組織を用いた肝薬物代謝酵素活性のハイスループットモニタリングの可能性

日本動物実験代替法学会第13回大会 (1999.11)

小澤正吾, 大野泰雄: 内分泌攪乱化学物質のヒトにおける代謝と内分泌攪乱作用の修飾

日本化学会第78会春季年会・内分泌攪乱性化学物質の動態研究シンポジウム (I) (2000.3)

大田久美子*, 小澤正吾, 紅林秀雄, 篠内桃子, 宮島敦子, 清水万紀子*, 松本宜明*, 福岡正道*, 大野泰雄: o-フェニルフェノール (OPP) の毒性代謝物2,5-ジヒドロキシビフェニル生成に関するシトクロムP450分子種

第120回日本薬学会年会 (2000.3)

* 昭和薬科大学

篠内桃子, 宮島敦子, 小澤正吾, 大野泰雄: ジフェニルのBDF1マウス肝薬物代謝酵素系に及ぼす影響

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

Sunouchi, M., Miyajima, A., Ozawa, S. and Ohno, Y.: Sex differences in hepatic CYP4A induction and biphenyl metabolism in biphenyl-administered BDF1 mice

The 39th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2000.3)

宮島敦子, 篠内桃子, 引間知広, 酒見和枝, 津田充宥, 大野泰雄: 2-Mercaptobenzimidazole (MBI) およびそのメチル誘導体のラット肝薬物代謝酵素系に及ぼす影響について

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

小野田文俊*, 宮島敦子, 関政幸*, 榎本武美*: 出芽酵母sgs1変異株におけるDNA障害誘導時の相同染色体組み換えの減少

第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

* 東北大学薬学部

宇井彩子*, 小野田文俊*, 佐藤友里恵*, 宮島敦子, 小野寺涼子*, 関政幸*, 榎本武美*: RecQヘリカーゼファミリーに保存されたアミノ酸の機能

第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

* 東北大学薬学部

紅林秀雄, 大野泰雄: Bisphenol Aの雄性ラットにおける血中動態と胆汁排泄

第25回環境トキシコロジーシンポジウム (1999.10)

根本浩之*, 野口智行*, 石川善孝*, 長塚伸一郎*, 須藤賢司*, 紅林秀雄, 大野泰雄: ラットにおけるBisphenol Aの体内動態

第2回日本内分泌錯乱攪乱化学物質学会 (1999.12)

* 第一化学薬品(株)薬物動態研究所

紅林秀雄, Harada, R.*, Stewart, R.K.*, Numata, H.*, 大野泰雄: ビスフェノールAのサルにおける生体内動態

第2回日本内分泌錯乱攪乱化学物質学会 (1999.12)

* ITR Laboratories Canada Inc., Quebec, Canada

紅林秀雄, Harada, R.*, Stewart, R.K.*, Numata, H.*, 大野泰雄: ビスフェノールAのサルにおける体内動態

日本薬学会第120年会 (2000.3)

* ITR Laboratories Canada Inc., Quebec, Canada

中島幹夫*, 高橋弘樹*, 佐々木真敬*, 小林洋四郎*, 宇佐見 誠, 大野泰雄: インジウムの発生毒性のラットおよびマウスにおける種差の検討

第39回日本先天異常学会学術集会 (1999.7)

* 旭化成工業株式会社 ライフサイエンス総合研究所

酒見和枝, 梅村隆志, 津田充宥, 大野泰雄: 2-Mercaptobenzimidazole (MBI) と lipopolisaccharide (LPS) の複合投与による毒性増強とトキシコキネティクス (TK) の検討

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

Shimada, K.*, Nishikimi, H.*, Kansaku, N.*, Saito, N.*, Usami, M., Ohno, Y.: Developmental mRNA expression of P450c17, P450arom and AMH in chicken gonads

International Conference on bird reproduction (1999.9)

* Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, Japan

古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: DEN投与ハムスターにおけるO6-medG発現の免疫組織化学的検討

第88回日本病理学会総会 (1999.4)

西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄: ハムスターBOP腺癌に対するprotocatechuic acid (PCA)の抑制効果

第88回日本病理学会総会 (1999.4)

糀谷高敏, 三森国敏, 安原加壽雄, 池田尚子, 今沢孝喜, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: DHPNを用いたラット二段階発癌モデルにおけるDMA誘発鼻腔増殖性病変の病理学的検討

第127回日本獣医学会 (1999.4)

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 糀谷高敏, 広瀬雅雄: p53ノックアウト(ヘテロ欠損)(p53(+/-))CBAマウスにおけるN-ethyl-N-nitrosourea (ENU)の発癌感受性

第127回日本獣医学会 (1999.4)

Furukawa, F., Nishikawa, A., Lee, I-S.*, Nakamura, H., Miyauchi, M., Hirose, M.: Chemopreventive activity of oltipraz against induction of glandular stomach carcinogenesis in rats by N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine

3rd International Gastric Cancer Congress (1999.4)

* 韓国啓明大学

Nishikawa, A., Furukawa, F., Lee, I-S.*1, Nakamura, H, Miyauchi, M., Kinac, N.*2, Hirose, M.: Promoting effects of 3-chloro-4-(dimethyl)-5-hydroxy-2(5H)-furanone (MX) on rat glandular stomach carcinogenesis initiated with N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine

3rd International Gastric Cancer Congress (1999.4)

*1 韓国啓明大学

*2 静岡県立大学

Lee, I-S.*1, Kim, H-J.*1, Kim, H-S.*1, Nishikawa, A., Furukawa, F., Nakamura, H, Miyauchi, M., Hirose, M., Kim, S-U.*2: Effects of Selagenella tamariscina on the expression of p53, G1 arrest in cell lines and glandular stomach carcinogenesis in rats initiated with MNNG

3rd International Gastric Cancer Congress (1999.4)

*1 韓国啓明大学

*2 ソウル大学

Nishikawa, A.: Risk assessment of food additives and related compounds: current status in Japan

1999 Annual Meeting of Korean Society of Postharvest Science and Technology of Agricultural Products, Invited Lecture (1999.4)

古川文夫, 西川秋佳, 宮内 慎, 中村英明, 笠原健一郎, 李 仁善*: ハムスター-BOP 膵発癌イニシエーションに対する 4-phenylbutyl isothiocyanate の影響

第6回日本がん予防研究会 (1999.7)

* 韓国啓明大学

西川秋佳, 古川文夫, 宮内 慎, 中村英明, 池田尚子, 村上 明*1, 大東 肇*2, 広瀬雅雄: 1'-Acetoxychavicol acetate による BOP 誘発ハムスター肝内胆管腫瘍の抑制

第6回日本がん予防研究会 (1999.7)

*1 近畿大学

*2 京都大学

古川文夫, 西川秋佳, 宮内 慎, 中村英明, 笠原健一郎, 広瀬雅雄: ジョサマイシンによる WBN/kob ラット膵炎発生の抑制

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

宮内 慎, 西川秋佳, 古川文夫, 中村英明, 広瀬雅雄: 抗酸化剤と亜硝酸の併用投与によるラット前胃への影響

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

田村 啓, 渋谷 淳, 豊田和弘, 畝山智香子, 高橋道人, 広瀬雅雄: ホウ素化合物のラット造血器およびリンパ系器官を標的とした毒性

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

安原加壽雄, 三森国敏, 小林裕子*, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: ラットにおける xylazine の鼻腔発癌修飾作用

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

* (社) 日本植物防疫協会研究所

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 糀谷高敏,

広瀬雅雄: 卵巣摘出ラットにおける内分泌攪乱化学物質の甲状腺増殖性病変に対する修飾作用

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 広瀬雅雄: P53 ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスにおける発がん感受性

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

中村英明, 古川文夫, 笠原健一郎, 宮内 慎, 西川秋佳, 広瀬雅雄: LEC ラットの肝障害に対する Oltipraz の影響

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

豊田和弘, 渋谷 淳, 田村 啓, 糀谷高敏, 畝山智香子, 広瀬雅雄: ラット 28 日間反復投与試験法 "OECD Guideline 407 enhanced" 確立のための Flutamide を用いた予備的検討

第26回日本トキシコロジー学会学術年会 (1999.7)

西川秋佳, 古川文夫, 宮内 慎, 中村英明, 孫 和永, 広瀬雅雄: タバコ煙による発がん修飾の作用機構

第14回発癌病理研究会 (1999.8)

西川秋佳, 古川文夫, 鈴木孝昌, 増村健一, 能美健彦, 林真, 広瀬雅雄: マーカー遺伝子導入マウスによる化学発癌分子機構の解析

第10回日本消化器癌発生学会 ワークショップ (1999.9)

古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ハムスター BOP 膵発癌イニシエーション期におけるイソチオシアネート系化合物の抑制効果

第10回日本消化器癌発生学会 (1999.9)

安原加壽雄, 三森国敏, 竹川 潔*, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: Xylazine のラット甲状腺発癌プロモーション作用とそのメカニズム

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

* 吉富製薬(株)

古川文夫, 西川秋佳, 宮内 慎, 中村英明, 笠原健一郎, 李 仁善, 広瀬雅雄: ハムスター BOP 膵発癌イニシエーションに対する 4-phenylbutyl isothiocyanate の影響

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

畝山智香子, 渋谷 淳, 豊田和弘, 田村 啓, 広瀬雅雄: メタカーン固定・パラフィン包埋切片からの RNA 及び蛋白質の発現レベル解析 予備的検討

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

今沢孝喜, 西川秋佳, 池田尚子, 中村英明, 広瀬雅雄: PhIP 単回投与によるラット標的細胞の核小体の超微形態学的変化

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

糀谷高敏, 三森国敏, 安原加壽雄, 池田尚子, 今沢孝喜, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: DHPN を用いたラット二段階発癌モデルにおける DMA 誘発鼻腔病変の経時的検討

第58回日本癌学会総会 (1999.9)

池田尚子, 西川秋佳, 今沢孝喜, 宮内 慎, 中村英明, 木村修一*, 広瀬雅雄: ヨード欠乏と大豆摂取による相乗的

甲状腺増殖効果の閾値の検討
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 昭和女子大学

西川秋佳, 池田尚子, 今沢孝喜, 宮内 慎, 中村英明, 木村修一*, 広瀬雅雄: 大豆摂取とヨード欠乏との特異的相乗的甲状腺増殖作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 昭和女子大学

広瀬雅雄, 宮内慎, 古川文夫, 中村英明, 西川秋佳: 亜硝酸と抗酸化剤の複合投与によるラット前胃上皮に対する細胞増殖作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

三森国敏, 若菜茂晴*, 安原加壽雄, 浦野浩司*, 丸山千佳*, 白居敏仁*, 梶谷高敏, 広瀬雅雄, 野村達次*: rasH2 トランスジェニックマウスのMNU/ENU誘発前胃・皮膚腫瘍における導入遺伝子変異
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 実中研

Lee, I-S.*, Yang, U-J. *, Kim, H-J.*, Nishikawa, A., Furukawa, F., Hirose, M.: Effects of *Adenophora triphylla* on apoptosis induction, G1 arrest and gastric epithelial cell proliferation
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 韓国啓明大学

宮内 慎, 西川秋佳, 古川文夫, 中村英明, 池田尚子, 村上 明^{*1}, 大東 肇^{*2}, 広瀬雅雄: ハムスターのBOP発癌イニシエーション期における1'-Acetoxychavicol acetateの影響
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
^{*1} 近畿大学
^{*2} 京都大学

陳 協*, 小川久美子*, 崔 林*, 杉浦 諭*, 広瀬雅雄, 白井智之*: PEITCのラット膀胱, 肝発がん促進に対する用量相関作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 名古屋市立大学

加藤俊男^{*1,2}, 玉野静光^{*3}, 二口 充^{*1}, 萩原昭裕^{*3}, 朝元誠人^{*1}, 河部真弓^{*3}, 広瀬雅雄, 白井智之^{*1}: DMABラット前立腺発がんにおけるtestosteroneとestrogenによる発癌修飾作用の検討
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
^{*1} 名古屋市立大学
^{*2} 大雄会病・病理
^{*3} 大雄会医科研

中村英明, 西川秋佳, 古川文夫, 宮内 慎, 池田尚子, 今沢孝喜, 広瀬雅雄: Protocatechuic acidによるBOP誘発ハムスター膀胱発癌の抑制
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

杉浦 諭*, 小川久美子*, 高橋 智*, 加藤俊男*, 広瀬雅雄, 白井智之*: Phenethyl isothiocyanate (PEITC)によるラット膀胱病変の可逆性
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
* 名古屋市立大学

吉野裕子^{*1,2}, 佐野真士^{*1,2}, 小川久美子^{*1}, 杉浦 諭^{*1}, 小木曾 正^{*1}, 広瀬雅雄, 白井智之^{*1}: イソチオシアネート関連化合物によるラット膀胱上皮の変化
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
^{*1} 名古屋市立大学
^{*2} 大雄会医科研

豊田和弘, 渋谷 淳, 田村 啓, 畝山智香子, 仁保直子, 広瀬雅雄: Benzyl isothiocyanate及びその代謝物のラット膀胱上皮細胞増殖に対する直接的作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

河部真弓^{*1}, 高橋 智^{*2}, 今井田克巳^{*2}, 佐野真士^{*1,2}, 玉野静光^{*1}, 広瀬雅雄, 白井智之^{*2}: 雌ラットを用いた中期多臓器発癌性試験法の開発
第58回日本癌学会総会 (1999.9)
^{*1} 大雄会医科研
^{*2} 名古屋市立大学

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 梶谷高敏, 広瀬雅雄: p53ノックアウト(ヘテロ欠損)(p53(+/-)) CBAマウスを用いた二段階発癌モデルにおけるflumequineの肝発癌修飾作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 梶谷高敏, 広瀬雅雄: P53ノックアウト(ヘテロ欠損) CBAマウスを用いたENU誘発子宮腫瘍モデルにおけるmethoxychlorおよびatrazineの発がん修飾作用
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

Mitsumori, K., Onodera, H., Yasuhara, K., Takagi, H., Koujitani, T. and Hirose, M.: Modifying effects of methoxychlor in uterine carcinogenesis model using heterozygous p53 deficient CBA mice treated with N-ethyl-N-nitrosourea
19th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (1999.9)

Shibutani, M., Toyoda, K., Imazawa, T., Nakamura, H., Miyachi, M., Koujitani, T., Tamura, T., Hirose, M.: Validation study of proposed protocol for an "Enhanced OECD test guideline 407" using flutamide and 17alpha-methyltestosterone
19th International Symposium on halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (1999.9)

安原加壽雄, 三森国敏, 梶谷高敏, 高木久宜, 小野寺博志, 広瀬雅雄: Ethylnitrosoureaの短期発癌試験におけるヒトプロト型c-Ha-ras遺伝子導入マウスの発癌標的性
第128回日本獣医学会 (1999.10)

渋谷 淳, 畝山智香子, 宮崎恵子, 田村 啓, 豊田和弘, 広瀬雅雄: メタカーン固定法: パラフィン包埋切片における遺伝子発現レベル解析への応用
第128回日本獣医学会 (1999.10)

小出彰宏*, 不破浩司*, 古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄, 森 幸雄*: 膀胱発癌物質N-nitrosobis(oxopropyl)aniline (BOP)と喫煙(CS)の代謝活性化に対する影響
第28回日本環境変異原学会 (1999.12)
* 岐阜薬科大学

Lee, I-S.*, Kim, H-J.*, Han, J.*, Seo, H-J.*, Furukawa, F., Nishikawa, A.: **Chemoprevention effects of polyozellus multiflex, A Korean wild mushrooms, on glandular stomach carcinogenesis in rats treated with MNNG**

2nd International Conference on Food Factors (1999.12)

* 韓国啓明大学

Hirose, M., Toyoda, K., Shibutani, M., Nishikawa, A., Ogawa, K.*, Sano, M.*, Sugiura, S.*, Shirai, T.*: **Isothiocyanates: Chemopreventors or Carcinogens?**

2nd International Conference on Food Factors (1999.12)

* 名古屋市立大学

Ikeda, T.*, Nishikawa, A., Imazawa, T., Nakamura, H., Miyauchi, M., Son, H-Y., Nakanishi, Y.*, Inage, H.*, Kimura, S.*, Hirose, M.: **Mechanistic insights into synergistic effects of soybean with iodine deficiency regarding induction of thyroid hyperplasia in rats**

2nd International Conference on Food Factors (1999.12)

* 昭和女子大学

Nishikawa, A., Furukawa, F., Lee, I-S.*, Ikeda, T., Son, H-Y., Miyauchi, M., Nakamura, H., Hirose, M.: **Effects of alkyl chain length on inhibition of BOP-induced pancreatic tumorigenesis in hamsters by isothiocyanates**

2nd International Conference on Food Factors (1999.12)

* 韓国啓明大学

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 梶谷高敏, 田村 啓, 広瀬雅雄: **p53 ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスを用いた二段階肝発癌モデルにおける flumequine の肝イニシエーション作用**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 梶谷高敏, 田村 啓, 広瀬雅雄: **P53 ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスを用いた ENU による二段階多臓器発がんモデルにおけるビスフェノールA, DDT, きなこの発がん修飾作用**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

渋谷 淳, 三森国敏, 佐藤伸一¹, 西島基弘², 平塚秀明³, 佐藤雅彦⁴, 広瀬雅雄, 安藤正典: **ラットの微量カドミウム長期間曝露における毒性発現閾値評価に関する研究**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

¹イナリサーチ

²都立衛生研究所

³三菱化学安全科学研究所

⁴国立環境研究所

広瀬雅雄: **内分泌臓器の毒性変化と内分泌攪乱化学物質: 甲状腺**

第16回日本毒性病理学会シンポジウム (2000.1)

仁保直子, 渋谷 淳, 三森国敏, 佐藤伸一*, 広瀬雅雄, 安藤正典: **PCNA 標識率を指標とした微量カドミウム2年間投与ラットにおける腎傷害性の評価**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* イナリサーチ(株)

畝山智香子, 渋谷 淳, 宮崎恵子, 仁保直子, 武吉正博*,

豊田和弘, 広瀬雅雄: **性ホルモン投与による肝細胞内 alpha2u-globulin 発現レベルの検索: Enhanced OECD Test Guideline 407 の新規パラメーターとしての可能性について**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* 化学品検査協会・安全性評価技術研究所

安原加壽雄, 三森国敏, 梶谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 田村 啓, 広瀬雅雄: **ヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子導入トランスジェニックマウスにおける 2,6-dimethylaniline の発癌感受性**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

梶谷高敏, 三森国敏, 安原加壽雄, 豊沢かおる*, 小野寺博志, 高木久宜, 田村 啓, 広瀬雅雄: **DHPN を用いたラット二段階発癌モデルにおける 2,6-dimethylaniline (DMA) 誘発増殖性病変の免疫組織化学的・超微形態学的検討**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* 大日本製薬(株)

古川文夫, 西川秋佳, 孫 和永, 宮内 慎, 中村英明, 千原 猛¹, 新保 寛¹, 別府秀彦¹, 葛谷博磁¹, 李 仁善², 広瀬雅雄: **キダチアロエのハムスター BOP 腫瘍イニシエーション期における抑制効果**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

¹保健衛生大学・生薬研

²韓国啓明大学

三森国敏: **発癌性検出のための短期代替試験の評価上の問題点: 短期発癌代替法の基本概念**

第16回日本毒性病理学会シンポジウム (2000.1)

西川秋佳: **発がん性検出のための短期代替試験の評価上の問題点・遺伝子改変動物 (レポーター遺伝子導入マウス)**

第16回日本毒性病理学会シンポジウム (2000.1)

豊田和弘, 渋谷 淳, 畝山智香子, 宮崎恵子, 仁保直子, 広瀬雅雄: **非遺伝子障害性発癌物質投与によるラット肝細胞での PCNA, p27kip1 及び Ref-1 の経時的変化**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

杉浦 諭*, 小川久美子*, 朝元誠人*, 今井田克巳*, 小木曾 正*, 広瀬雅雄, 白井智之*: **Phenethyl isothiocyanate (PEITC) によるラット膀胱病変の可逆性**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* 名古屋市立大学

田村 啓, 三森国敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: **ヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子導入トランスジェニックマウスにおける urethane 誘発肺増殖性病変に対する Cinnamaldehyde の修飾作用**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

宮内 慎, 西川秋佳, 古川文夫, 中村英明, 孫 和永, 森幸雄*, 広瀬雅雄: **MeIQx 誘発ラット肝発癌におけるタバコ煙負荷の増強効果**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* 岐阜薬大

中西 巧^{1,2}, 陳 協², 小川久美子², 崔 林², 鈴木周五², 広瀬雅雄, 白井智之²: **PEITC のラット膀胱, 肝発がん促進に対する用量相関作用**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

*1 大雄会医科研

*2 名古屋市立大学

吉野裕子*1,*2, 小川久美子*2, 玉野静光*1, 佐野真士*1,*2, 河部真弓*1, 二口 充*1, 広瀬雅雄, 白井智之*2: **BITC および PEITC 関連化合物のラット泌尿器系諸臓器に対する影響**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

*1 大雄会医科研

*2 名古屋市立大学

中村英明, 西川秋佳, 今沢孝喜, 古川文夫, 宮内 慎, 池田尚子, 広瀬雅雄: **ラット 28 日間反復投与試験法 "Enhanced OECD test Guideline 407" 確立のための 17 α -methyltestosterone を用いた予備的検討**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

池崎信一郎*1, 西川秋佳, 古川文夫, 工藤佳代子*2, 笠原健一郎*2, 岡崎修三*2, 田村一利*2, 森 秀樹*1: **ラット MNNG 誘発腺胃発癌におけるクルクミンの影響**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

*1 岐阜大学

*2 ポゾリサーチセンター

今沢孝喜, 渋谷 淳, 赤木 巧*1, 三森国敏, 佐藤伸一*2, 西川秋佳, 広瀬雅雄, 安藤正典: **塩化カドミウムの長期微量投与ラットにおける近位尿管上皮細胞内でのカドミウムとメタロチオネインの分布様式の解析**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

*1 理化研・脳科学総合研究センター

*2 イナリサーチ (株)

Son, H-Y., Nishikawa, A., Ikeda, T.*, Imazawa, T., Nakamura, H., Miyauchi, M., Yamagishi, M., Kimura, S.*, Hirose, M.: **Effects of soy isoflavone on the thyroid of rats treated with iodine deficiency.**

第16回日本毒性病理学会 (2000.1)

* 昭和女子大学

三森国敏: **動物用医薬品の安全性評価**

日本産業動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会合同シンポジウム (2000.2)

Nishikawa, A., Ikeda, T.*, Nakamura, H., Miyauchi, M., Imazawa, T., Son, H-Y., Furukawa, F., Kimura, S.*, Hirose, M.: **Dramatic synergism of excess soybean intake with iodine deficiency on the development of rat thyroid proliferative lesions**

39th Annual Meeting of Society of Toxicology (2000.3)

* 昭和女子大学

Miyauchi, M., Nishikawa, A., Furukawa, F., Nakamura, H., Son, H-Y., Ikeda, T.*, Imazawa, T., Hirose, M.: **Effects of combined treatment with antioxidants and sodium nitrite on the rat forestomach**

39th Annual Meeting of Society of Toxicology (2000.3)

Furukawa, F., Nishikawa, A., Miyauchi, M., Nakamura, H., Son, H-Y., Hirose, M.: **A morphometrical analysis of effects of female sex hormones on hamster pancreatic islet**

39th Annual Meeting of Society of Toxicology (2000.3)

Yasuhara, K., Mitsumori, K., Takegawa, K.*, Koujitani, T., Onodera, H., Takagi, H. and Hirose, H.: **Promoting activity of xylazine on rat thyroid carcinogenesis and its mechanism of action**

39th Annual Meeting of Society of Toxicology (2000.3)

* 吉富製薬 (株)

Mitsumori, K., Wakana, S.*, Urano, K.*, Maruyama, C.*, Usui, T.*, Yasuhara, K., Koujitani, T., Hirose, M. and Tamaoki, K.*: **Point mutations of the transgene in forestomach and skin tumors of rasH2 transgenic mice induced by N-methyl-N-nitrosourea or N-ethyl-N-nitrosourea**

39th Annual Meeting of Society of Toxicology (2000.3)

* 実中研

本間正充: **内分泌攪乱化学物質がもたらす遺伝的不安定性 日本環境変異原学会シンポジウム (1999.5)**

Suzuki, T., Nakajima, M.*1, Hachiya, N.*2, Hara, T.*3, Wang, X. and Itoh, S.*4 (The Collaborative Study Group for the Transgenic Mouse Mutation Assay, Mammalian Mutagenesis Study Group of the Environmental Mutagen Society of Japan): **The Second Collaborative Study on the Transgenic Mouse Mutation Assay by the JEMS/MMS: A comparability of the *cII* gene with the *lacZ* gene in the MutaTM Mouse**

The 29th Annual Meeting of the European Environmental Mutagen Society (1999.7)

*1 食品農医薬品安全性評価センター

*2 秋田大学医学部

*3 食品薬品安全センター

*4 第一製薬 (株)

本間正充, 祖父尼俊雄, 林 真: **p53 欠損細胞における Breakage-Fusion-Bridge (BFB) サイクルによる染色体不安定化機構**

日本放射線影響学会第42回大会 (1999.9)

本間正充, 百瀬真希, 林 真, Yu Yongia*, John Little* : **p53 欠損による組換え修復異常と染色体不安定性**

日本癌学会第58回総会 (1999.9)

*Harvard School of Public Health

楠洋一郎*, 本間正充, 林奉権*, 京泉誠之*: **放射線による生体内 MHC クラス I アリル欠失突然変異細胞の発生とその NK 細胞による抑制**

日本癌学会第58回総会 (1999.9)

*放射線影響研究所

Hayashi, M.: **The interaction between toxicology and biostatistics: Experience in Japan**

International Biometrics Society, Group Korea (1999.10)

Honma, M.: **Requirement of wild-type p53 protein for recombinational DNA repair and genomic instability**

Radiation and Cancer: Etiology, Treatment & Prevention (1999.10)

Honma, M.: **Requirement of wild-type p53 protein for recombinational DNA repair and chromosomal instability**

ASM Conference on DNA Repair and Mutagenesis (1999.11)

林 真：環境変異原と染色体研究の関わり：小核試験－その優れた特徴
染色体学会第50回記念大会（1999.11）

鈴木孝昌, 小原有弘, 王 雪, 本間正充, 林 真：トランスジェニックマウスを用いる突然変異解析における *λcII* 遺伝子の有用性
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

小原有弘, 鈴木孝昌, 平野紀子^{*1}, 大澤浩一^{*1}, 大和田智彦^{*2}, 本間正充, 林 真：*o*-Aminoazotolueneにより誘発される *cII* 突然変異のスペクトル
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

^{*1}大正製薬(株)

^{*2}名古屋市立大学薬学部

鈴木孝昌：ポストゲノム時代の変異原研究－DNAチップ, SNP, HTSのインパクト－
日本環境変異原学会第28回大会 Mutag21（1999.12）

本間正充, 楠洋一郎*, 京泉誠之*, 大西寿*, 林 真：マウス主要組織適応抗原クラスI遺伝子をターゲットとした新しい *in vivo* 遺伝子突然変異検出系の開発
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

*放射線影響研究所

西川貴史*, 晴佐久満*, 足立邦明*, 増田光輝*, 林真： *In vivo* 皮膚小核試験法の開発
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

*ライオン

浜田修一^{*1}, 山崎賢一^{*2}, 中西聡^{*2}, 芦川忠夫^{*2}, 林真：ラット小核試験における系統差の検討
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

^{*1}エスエス製薬

^{*2}京都大学医学部

高井明德^{*1}, 石川卓^{*2}, 上野紘一^{*2}, 中室克彦^{*3}, 奥野智史^{*3}, 上野仁^{*3}, 北野雅昭^{*4}, 祖父尼俊雄^{*5}, 林 真：魚類を用いる小核試験および Ames 試験による都市河川の汚染モニタリング
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

^{*1}大阪信愛短大

^{*2}近畿大学

^{*3}摂南大学

^{*4}大阪市環科研

^{*5}オリンパス光学工業(株) 染色体研究センター

森本茂子*, A. Gordon*, 黒部利博*, 福西暢尚*, 本間正充, 加藤武司*, 花岡文雄*, 谷田貝文夫*：低線量線重粒子照射によるヒト細胞での適応応答
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

*理化学研究所

田所聡, 本間正充, 松岡厚子, 坂本浩子, 佐藤三佐子*, 杉本正信*, 古市泰宏*, 林 真：ウェルナー症患者由来 B リンパ球細胞株の小核誘発性と染色体不安定性
日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

*エイジーン研究所

坂本浩子, 本間正充, 田辺秀之, 今村宰*, 藤田久美子*,

松本武久*, 古市泰宏*, 林 真：ウェルナー型 (WRN) またはブルーム型 (BLM) RecQ ヘリカーゼ欠損トリ DT40 細胞の染色体不安定性

日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

*エイジーン研究所

松岡厚子, 坂本浩子, 田所 聡, 多田敦子^{*1}, 若林敬二^{*1}, 寺尾良保^{*2}, 榎谷東雄^{*2}, 林 真：*In vitro* 小核試験を用いる染色体数的異常誘発物質の検索

日本環境変異原学会第28回大会（1999.12）

^{*1}国立がんセンター

^{*2}静岡県立大学

今村 宰^{*1}, 松本武久^{*1}, 藤田久美子^{*1}, 島本 顕^{*1}, 田辺秀之, 本間正充, 林 真, 武田俊一^{*2}, 古市泰宏^{*1}：*DT40* 細胞株を用いたジーンターゲティングによる Bloom ヘリカーゼおよび Werner ヘリカーゼの機能解析

第22回日本分子生物学会年会（1999.12）

^{*1}エイジーン研究所

^{*2}京都大学医学部

Honma, M., Tanabe, H., Yongia, Y. *, Little, J. *, Sofuni, T. and Hayashi, M.: Requirement of wild-type p53 protein for maintenance of chromosomal integrity.

DNA Repair Defect (2000.1)

* Harvard Scholl of Public Health

本間正充：多段階発がん過程における組換え修復異常と染色体不安定性

放射線影響学会シンポジウム（2000.1）

小原有弘, 鈴木孝昌, 西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄, 大和田智彦, 本間正充, 林 真：*p53* ノックアウトマウスを用いた MeIQx の変異原性解析

日本薬学会第120年会（2000.3）

Honma, M., Tanabe, H., Yongia, Y. *, Little, J. *, Sofuni, T. and Hayashi, M.: Requirement of wild-type p53 protein for maintenance of chromosomal integrity.

Environmental Mutagen Society 31st Annual Meeting (2000.4)

*Harvard Scholl of Public Health

Suzuki, T., Kohara, A., Wang, X., Honma, M. and Hayashi, M.: *λcII* gene is useful for sequence analysis in the transgenic mouse mutation assay.

Environmental Mutagen Society 31st Annual Meeting (2000.4)

能美健彦：個体を用いた放射線誘発突然変異の検出
第9回放射線生物学ワークショップ（1999.6）

金秀良, Jérôme Wagner*, Petr Gruz, 山田雅巳, 松井恵子, Robert P.P. Fuchs*, 能美健彦：大腸菌 DNA polymerase IV をコードする *dinB* 遺伝子の解析

日本遺伝学会第71回大会

* CNRS, France

Wagner, J. *, Napolitano, R.L. *, Janel-Bintz, R. *, Becherel, O.J. *, Nohmi, T. and Fuchs, R.P.P. *: Polymerases in spontaneous and induced mutagenesis

ASM conference on DNA repair and mutagenesis (1999.11)

* CNRS, France

Kim, S.R., Matsui, K., Yamada, M., Gruz, P. and Nohmi, T.: **Roles of the *dinB* genes in chromosome and episome in the spontaneous frameshift mutations in *Escherichia coli***
ASM conference on DNA repair and mutagenesis (1999.11)

Wagner, J.* and Nohmi, T.: **Genetic requirements and specificity of mutations of untargeted mutagenesis of lambda phage enhanced by DNA polymerase IV (*dinB*) of *Escherichia coli***
ASM conference on DNA repair and mutagenesis (1999.11)
* CNRS, France

Wagner, J.*, Gruz, P., Kim S.R., Yamada, M., Matsui, K., Fuchs, R.P.P. * and Nohmi, T.: **The *dinB* gene encodes a novel *E. coli* DNA polymerase (DNA Pol IV) involved in mutagenesis**
ASM conference on DNA repair and mutagenesis (1999.11)
* CNRS, France

山田雅巳, Jérôme Wagner *, Petr Gruz, 金秀良, 松井恵子, Robert P. P. Fuchs *, 能美健彦: **Biochemical evidence for DinB as DNA Pol IV in *Escherichia coli***
2nd 3 R symposium (1999.11)
* CNRS, France

金秀良, 松井恵子, 山田雅巳, Petr Gruz, 能美健彦: **Roles of the *dinB* (Pol IV) genes in chromosome and episome in the spontaneous frameshift mutations in *Escherichia coli***
2nd 3 R symposium (1999.11)

鈴木 任, 能美健彦: **Growth phase-dependent expression of *mutM*, *T*, *Y* in *Escherichia coli*: the transcriptional cooperation of *mutM*, *T*, *Y* during phase-transition from rest to growth**
2nd 3 R symposium (1999.11)

増村健一, 堀口美恵子*¹, 国谷健介*², 古川文夫, 西川秋佳, 能美健彦: **トランスジェニックマウス *gpt delta* を用いた MeIQx により誘発される突然変異の解析**
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)
¹東京農業大学
²昭和薬科大学

堀口美恵子*¹, 増村健一, 池畑広伸*², 小野哲也*², 管家祐輔*¹, 能美健彦: **トランスジェニックマウス *gptΔ* を用いた突然変異の *in vivo* 解析: 紫外線誘発の欠失変異**
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)
¹東京農業大学
²東北大学医学部

竹入 章*, 田中健司*, 塩入明文*, 上田乙也*, 鈴木宏志*, 三島雅之*, 井上 誠*, 能美健彦: **トランスジェニックマウス *gptΔ* の骨髄における benzo[a]pyrene, mitomycin C および adriamycin による遺伝子突然変異の誘発**
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)
* 中外製薬

能美健彦: **トランスジェニックマウスを用いた点突然変異と欠失突然変異の検出**
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)

山田典代*, 松井恵子, 金秀良, 福岡正道*, 能美健彦: **8-ヒドロキシグアニン修復酵素欠損 Ames 試験菌株を用いた**

酸化型突然変異の効率的検出
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)
* 昭和薬科大学

山田雅巳, Petr Gruz, 金秀良, Jérôme Wagner*, Robert P.P. Fuchs*, 能美健彦: **突然変異の生成と抑制に働く新しい DNA ポリメラーゼ・ファミリーの発見**
日本環境変異原学会第28回大会 (1999.12)
* CNRS, France

増村健一, 池田日出男*, 能美健彦: **マウス個体に誘発される非相同組換えの検出と解析**
第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)
* 北里大学

金秀良, 松井恵子, 山田雅巳, Petr Gruz, 能美健彦: **大腸菌 *dinB* 遺伝子欠損株の作製とその解析**
第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)

Petr Gruz, Jérôme Wagner*, 山田雅巳, 能美健彦: **Purification of native DNA polymerase IV from *E. coli* and functional comparison to its His Tagged derivative.**
第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)
* CNRS, France

Jérôme Wagner*, Petr Gruz, 金秀良, 山田雅巳, 松井恵子, Robert P. P. Fuchs*, 能美健彦: **突然変異誘発に関与する大腸菌 *dinB* 遺伝子は新しい DNA ポリメラーゼ (DNA pol IV) をコードしている.**
第22回日本分子生物学会年会 (1999.12)
* CNRS, France

能美健彦: **大腸菌 DNA ポリメラーゼ IV (*dinB*) の突然変異誘発における役割**
平成11年度特定領域研究「DNA修復欠損・細胞複製装置」合同公開シンポジウム (2000.1)

Nohmi, T.: **Transgenic mouse *gpt delta*: development, recent progress and future directions**
The 31st annual meeting of the Environmental Mutagen Society (2000.4)

能美健彦: **環境変異原の検出と評価に用いるトランスジェニックマウスの開発**
第2回 環境遺伝子工学実験棟シンポジウム (2000.5)

増井 徹: **eti-1 (epithelial topoinhibition inducible) 遺伝子について**
第四回上皮細胞研究会 (1999.4)

田辺秀之, 高田容子, 峯岸大輔, Hans G. Drexler*¹, 工藤俊雄*², 祖父尼俊雄*³, 水沢 博: **STR 領域を用いた細胞株の個別識別と染色体分析: 3細胞株 ECV304, EJ-1, T24 のクロスカルチャーコンタミネーションについて**

日本組織培養学会第72回大会 (1999.5)
¹DSMZ (Deutsche Sammlung von Mikroorganismen und Zellkulturen), Germany
²東北大学加齢医学研究所
³オリンパス光学工業(株) 染色体研究センター

増井 徹, 高田容子, 樽松美治, 田辺秀之, 祖父尼俊雄, 水沢 博: **RCC1** リピートをもつ増殖停止関連遺伝子 **eti-1** の野生型 **p53** 依存性アポトーシス誘導活性
第72回日本組織培養学会大会 (1999.5)

増井 徹, 高田容子, 樽松美治, 田辺秀之, 岩下新太郎*, 祖父尼俊雄*, 水沢 博: 増殖停止関連遺伝子 **eti-1** のコロンニ形成阻害活性における正常 **p53** の役割
日本組織培養学会第72回大会 (1999.5)

*1 三菱化学生命科学研究所

*2 オリパス光学工業(株) 染色体研究センター

増井 徹: メカニカルストレスの一般培養系での意味
第72回日本組織培養学会大会シンポジウム (1999.5)

Masui, T., Takada, Y., Okado, K., Sofuni, T., Mizusawa, H.: **Epithelial Topoinhibition Inducible-1 (eti-1) gene isolated from normal human epithelium at growth arrest induced apoptosis.**

Congress on In Vitro Biology (1999.6)

増井 徹: 正常上皮組織の増殖調節と増殖因子の役割
第70回日本動物学会大会ワークショップ (1999.9)

増井 徹, 高田容子, 田辺秀之, 祖父尼俊雄, 水沢 博: **RCC1** リピートをもつ増殖停止関連遺伝子 **eti-1** の野生型 **p53** 依存性アポトーシス誘導活性
第58回日本癌学会総会 (1999.9)

増井 徹: 非医療分野でのヒト組織細胞の取り扱い
第7回組織移植医療研究会 (1999.11)

増井 徹: ヒト組織・細胞を取り扱う枠組みについてファーマコジェネチクスを例に考える -シンポジウム計画にあたって
第13回日本動物実験代替法学会大会シンポジウム (1999.11)

増井 徹: 細胞の増殖停止機構について
昭和大学薬学部 (1999.11)

増井 徹: 非医療分野におけるヒト組織・細胞の取り扱い
日本組織培養学会秋期シンポジウム (1999.11)

岡田敏史: 不純物プロファイルによる品質管理
日本薬学会第120年会 (岐阜, 2000.3)

工藤憲一*, 岩谷敬仁*, 四方田千佳子, 斎藤宗男*, Morris S.*: **Highly selective detection and optical determination of alkaloid in scopolia extract by HPLC with a CD (Circular dichroism) detector**

International Symposium on Chiral Discrimination (1999.7)

* 日本分光(株) 第二技術部

四方田千佳子, 田頭洋子, 岡田敏史: 医薬品分析における技能試験について一薬剤師会試験センター等52機関における実施結果一
第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

四方田千佳子: 医薬品分析における技能試験
日本薬剤師会技術講習会 (1999.12)

杉江修一*, 水上清太郎*, 片岡捷夫*, 米勢政勝*, 四方田千佳子: **Novel Submicron Complex of Acidic Mucopolysaccharide-Cationic Drug**
The 5th US-Japan Symposium on Drug Delivery Systems (1999.12)

*1 第一製薬(株) 製材技術研究所

*2 名古屋市立大学薬学部

四方田千佳子, 岡田敏史: ヒアルロン酸ゲルと医薬品の相互作用
第11回高分子ゲル討論会 (2000.1)

Miyazaki, T., Yomota, C. and Okada, S.: **Ultrasonic depolymerization of hyaluronate**
219th ACS National Meeting (2000.3)

Yomota, C. and Okada, S.: **Various interactions of drugs with the crosslinked hyaluronate gel**
219th ACS National Meeting (2000.3)

Maekawa, K., Tanimoto, T., Okada, S., Suzuki, T.*1, Suzuki, T.*1 and Yabe-Nishimura, C.*2: **Effects of Hyperglycemic and Hyperosmotic Conditions on Aldose Reductase mRNA Expression in Cultured Rat Schwann Cells**
2000 US-Japan Aldose Reductase Workshop (2000.1)

*1 三和化学研究所

*2 京都府立医科大学

Koide, T., Fuchino, H., Sekita, S., Satake, M.: **The effects of natural compounds based on ethnobotanical medicine against protozoa in vitro.**
13th International Congress of Traditional Medicine (1999.10)

淵野裕之, 高橋真理衣, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 ベルー産 *Lingua de vaca* の成分について
日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

淵野裕之, 高橋真理衣, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 ブラジル産 *Lingua de vaca* の抗リーシュマニア活性成分
日本薬学会第120年会 (2000.3)

高橋真理衣, 淵野裕之, 小出達夫, 関田節子, 佐竹元吉: 南米産薬用植物の成分研究 セスキテルペン誘導体の抗リーシュマニア活性について
日本薬学会第120年会 (2000.3)

斎藤博幸, 谷本 剛, 岡田敏史, 有本 達*, 佐々木哲也*, 半田哲郎*: スフィンゴミエリンによるリポпротеインリパーゼの反応制御機構
第41回日本脂質生化学研究会研究集会 (1999.6)

* 京都大学大学院薬学研究科

斎藤博幸, 奥平桂一郎*, Aline Vertut-Doi*, 松本智津子*, 谷本 剛, 岡田敏史, 半田哲郎*: アポリポ蛋白質Eに依存した脂質粒子の肝臓取り込み: コレステリルエステルによる阻害機構
第15回日本DDS学会 (1999.7)

* 京都大学大学院薬学研究科

櫻井文教^{*1}, 斎藤博幸, 馬場照彦^{*2}, 奥田 歩^{*1}, 松本治^{*1}, 多賀 徹^{*1}, 山下富義^{*1}, 高倉喜信^{*1}, 橋田 充^{*1}: コレステロール含有カチオン性リポソームを用いた *in vivo* 遺伝子導入における遺伝子発現上昇メカニズムの解明
第15回日本DDS学会 (1999.7)

^{*1}京都大学大学院薬学研究所

^{*2}物質工学工業技術研究所

斎藤博幸: 生体エマルション“血漿リポ蛋白質”の構造とその生理的機能

第52回コロイドおよび界面化学討論会 (1999.10)

田中将史^{*}, 斎藤博幸, 谷本 剛, 岡田敏史, 中野 実^{*}, 半田哲郎^{*}: 脂質エマルションの表面膜—コア脂質相互作用とアポリポ蛋白質 A-I の結合性

第52回コロイドおよび界面化学討論会 (1999.10)

^{*}京都大学大学院薬学研究所

奥平桂一郎^{*}, 田中将史^{*}, 半田哲郎^{*}, 斎藤博幸: アポリポ蛋白質 A-I、E の脂質粒子への結合に対するコア中性脂質の効果

第21回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (1999.11)

^{*}京都大学大学院薬学研究所

奥平桂一郎^{*}, 土本奈乃子^{*}, Aline Vertut-Doi^{*}, 松本智津子^{*}, 斎藤博幸, 半田哲郎^{*}: 脂質粒子膜表面へのアポリポ蛋白質の結合性とその細胞取り込みに及ぼす影響
膜シンポジウム '99 (1999.11)

^{*}京都大学大学院薬学研究所

Saito, H., Tanaka, M.^{*1}, Okamura E.^{*2}, Tanimoto, T., Okada, S., Nakahara M.^{*2} and Handa, T.^{*1}: **Lipid-Apolipoprotein A-I Interactions in Bilayers and Emulsion Monolayers**
Interactions of Biopolymers with Model Membranes (2000.3)

^{*1}Graduate School of Pharmaceutical Science,

Kyoto University

^{*2}Institute for Chemical Research, Kyoto University

土本奈乃子^{*}, 奥平桂一郎^{*}, Aline Vertut-Doi^{*}, 中野実^{*}, 斎藤博幸, 半田哲郎^{*}: エマルション粒子の HepG2 細胞取り込みに及ぼす表面脂質組成の影響

日本薬学会第120年会 (2000.3)

^{*}京都大学大学院薬学研究所

佐々木哲也^{*}, 有本 達^{*}, 中野 実^{*}, 斎藤博幸, 半田哲郎^{*}: リポ蛋白質リパーゼ反応 (リポリシス) におけるスフィンゴミエリンの影響

日本薬学会第120年会 (2000.3)

^{*}京都大学大学院薬学研究所

Tsuji, S., Amakura, Y., Okada, M., and Tonogai, Y.: **Investigation of Organic Impurities in Sunset Yellow FCF Using HPLC with Reversed-Phase Amide Column**
113th International Annual Meeting (1999.9)

天倉吉章, 岡田 舞, 辻 澄子, 外海泰秀: 果実中に含まれる天然抗酸化成分エラグ酸の分析

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

辻 澄子, 天倉吉章, 岡田 舞, 外海泰秀: 5種アゾ系タール色素中の未反応原料, 反応中間体及び副成色素のスク

リーニング法の検討

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

吉井公彦, 開原亜樹子, 津村ゆかり, 石光進, 外海泰秀: 農作物中エマメクチン安息香酸塩及び4種代謝物分析法の改良

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

石光 進, 津村ゆかり, 外海泰秀, 斎藤 勲^{*1}, 酒井洋^{*2}, 小林ゆかり^{*2}: 食品中フタル酸エステル類の試験法及び分析値の機関間変動

日本食品衛生学会第78回学術講演会 (1999.10)

^{*1}愛知県衛生研究所

^{*2}新潟県保健環境科学研究所

中村優美子, 辻 澄子, 外海泰秀: 大豆及びその加工食品中のイソフラボノイド含量及びこれら的大豆由来食品より算出した日本人のイソフラボノイド1日摂取量について

第49回日本薬学会近畿支部総会・大会 (1999.10)

辻 澄子, 岡田 舞, 天倉吉章, 外海泰秀: 食用黄色5号 (サンセットイエローFCF) 中の不適事例について

第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

吉井公彦, 開原亜樹子, 津村ゆかり, 石光 進, 外海泰秀: マクロサイクリックラクトン系農薬 (ミルベメクチン、エマメクチン安息香酸塩等) の一斉分析法

第36回全国衛生化学技術協議会年会 (1999.11)

Amakura, Y., Okada, M., Tsuji, S. and Tonogai, Y.: **Determination of ellagic acid, a naturally occurring antioxidant, in fresh and processed fruits by HPLC-photodiode array detection**

Sixth International Symposium on Hyphenated Techniques in Chromatography and Hyphenated Chromatography Analyzer (2000.2)

Yoshii, K., Kaihara, A., Tsumura, Y., Ishimitsu, S. and Tonogai, Y.: **Liquid chromatographic determination of emamectin, milbemectin, ivermectin and abamectin in crops and confirmation by LC/MS**

Sixth International Symposium on Hyphenated Techniques in Chromatography and Hyphenated Chromatography Analyzer (2000.2)

Yoshii, K., Tsumura, Y., Nakamura, Y., Ishimitsu, S. and Tonogai Y.: **Simple and Rapid Determination of Bentazone, Inabenfide and Flusulfamide in Crops by HPLC and Confirmation by LC/MS**

XII California Pesticide Residue Workshop (2000.3)

Ishimitsu, S., Yoshii, K., Kaihara, A., Tsumura, Y., Nakamura, Y. and Tonogai Y.: **Simultaneous Determination of Clothodim and Its Oxidation Metabolites by HPLC**

XII California Pesticide Residue Workshop (2000.3)

岡野有見子^{*}, 赤澤麻衣子^{*}, 藤本貞毅^{*}, 石光 進, 外海泰秀: 食用色素のタンパク質に対する光増感作用に関する検討

日本薬学会第120年会 (2000.3)

^{*}京都薬科大学

辻 澄子, 岡田 舞, 天倉吉章, 外海泰秀, 西 正敏*, 中西 勤*: 食用青色1号アルミニウムレーキから検出された付随色素について

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

* 摂南大学薬学部

天倉吉章, 岡田 舞, 辻 澄子, 外海泰秀: HPLCによる天然果汁中5種フェノール酸の分析

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

石光 進, 開原亜樹子, 吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美子, 外海泰秀: 農産物中クレトジム及びその酸化代謝物のHPLCによる分析

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

津村ゆかり, 石光 進, 開原亜樹子, 外海泰秀, 酒井洋*¹, 小林ゆかり*¹, 斎藤 勲*²: 日本人の日常的な食事に含まれるフタル酸エステル類濃度

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

*¹新潟県保健環境科学研究所

*²愛知県衛生研究所

開原亜樹子, 吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美子, 石光進, 外海泰秀: SFE及びHPLCを用いた青果物中の27種農薬の迅速一斉分析法

日本食品衛生学会第79回学術講演会 (2000.5)

宮脇英美子, 前田秀子, 原園 景, 江馬 眞, 川島邦夫: CASA-Systemを用いたNitrobenzene関連化合物の精子試験 I. Nitrobenzene

第4回 Testes Workshop 精子形成・精巣毒性研究会 (1999.7)

前田秀子, 宮脇英美子, 原園 景, 江馬 眞, 川島邦夫: CASA-Systemを用いたNitrobenzene関連化合物の精子試験 II. 1, 4-dichloro-2-nitrobenzene

第4回 Testes Workshop 精子形成・精巣毒性研究会 (1999.7)

原園 景, 前田秀子, 宮脇英美子, 江馬 眞, 川島邦夫: CASA-Systemを用いたNitrobenzene関連化合物の精子試験 III. Nitrobenzene及び1, 4-dichloro-2-nitrobenzeneの相対効力検定

第4回 Testes Workshop 精子形成・精巣毒性研究会 (1999.7)

江馬 眞, 宮脇英美子, 川島邦夫: 可塑剤 dibutyl phthalateの妊娠及び偽妊娠ラットにおける生殖障害

第39回日本先天異常学会 (1999.7)

江馬 眞, 宮脇英美子, 川島邦夫: Triphenyltin chlorideのラットにおける発生毒性

第39回日本先天異常学会 (1999.7)

江馬 眞: 有機スズ化合物のラット生殖発生毒性

第39回日本先天異常学会シンポジウム (1999.7)

江馬 眞, 宮脇英美子, 川島邦夫: 妊娠初期に投与したdiphenyltin dichlorideによる胚致死作用

第26回日本トキシコロジー学会 (1999.7)

原園 景, 江馬 眞, 川島邦夫: トリブチルスズによるラットにおける着床阻害作用

第64回関西実験動物研究会 (1999.11)

Emma, M., Harazono, A. and Kawashima, K.: Early embryonic loss induced by dibutyltin dichloride (DBTCl) in rats.

Society of Toxicology, 39th Annual Meeting (2000.3)

靄島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 平田陸正*, 矢上健, 中村晃忠: 天然医用材料の安全性評価に関する研究

第21回バイオマテリアル学会 (1999.11)

* 岩手医科大学

村井敏美, 中川ゆかり, 前田秀子, 川島邦夫, 高岡文*: ヒト単球系株化細胞を用いたin vitro発熱性物質試験法の開発

日本薬学会第120年会 (2000.3)

* 和光純薬工業(株) 大阪研究所

靄島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 平田陸正*, 矢上健, 中村晃忠: 医療用ラテックス製品に含まれる発熱性物質の同定

日本薬学会第120年会 (2000.3)

* 岩手医科大学

中川ゆかり, 前田秀子, 高岡文*, 村井敏美: 培養細胞を用いたインビトロ発熱性物質試験法の開発-ヒト単球様細胞株のサイトカイン産生を指標とする試験系について-

日本防菌防黴学会第27回年次大会 (2000.5)

* 和光純薬工業(株) 大阪研究所

柴田敏郎: ポウフウの栽培について

第9回薬用植物栽培技術フォーラム (1999.7)

南 基泰, 柴田敏郎, 佐竹元吉, 近藤誠三*¹, 岡 賢治*¹, 番 保徳*², 萱野暁明*²: 茵陳蒿の生産について (5) 石川県手取川河口で認められたカワラヨモギ (*Artemisia capillaris*) のほふく型及び直立型の中間雑種について

日本生薬学会46回年会 (1999.9)

*¹小太郎漢方製薬(株)

*²農林水産省生物資源研究所

芝野真喜雄*¹, 川瀬さおり*¹, 村上理恵*¹, 喜多俊二*¹, 草野源次郎*¹, 柴田敏郎, 畠山好雄, 縣 功*²: ウラルカンゾウ (*Glycyrrhiza uralensis*) の栽培のための基礎研究. 2

日本生薬学会46回年会 (1999.9)

*¹大阪薬科大学

*²北海道医療大学

草野源次郎*¹, 芝野真喜雄*¹, 渡辺 育*², 尾崎和男*², 喜多俊二*¹, 柴田敏郎, 畠山好雄, 飯島 泉*³: 甘草屋敷のウラルカンゾウ (*Glycyrrhiza uralensis*) の復活

日本生薬学会46回年会 (1999.9)

*¹大阪薬科大学

*²武田薬品工業

*³塩山市教育委員会

松岡秀明*, 佐藤文彦*, 下村講一郎, 矢崎一史*: GFP-fusionを用いたムラサキの暗黒下発現タンパクLEDI-2の細胞内局在性の解析

第17回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 札幌 (1999.7)

* 京都大学

東野 薫^{*1}, 原田久也^{*1}, 吉松嘉代, 矢崎一史^{*2}, 下村講一郎: 培養ムラサキシユートにおけるシコニン誘導体およびフェノール性化合物

第17回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 札幌 (1999.7)

^{*1}千葉大学

^{*2}京都大学

東野 薫^{*1}, 原田久也^{*1}, 吉松嘉代, 畠山好雄, 下村講一郎, 矢崎一史^{*2}: 培養ムラサキシユートにおけるシコニン誘導体およびフェノール性化合物 -メチルジャスモン酸の影響-

日本生薬学会第46回年会, 大阪 (1999.9)

^{*1}千葉大学

^{*2}京都大学

南 基泰, 畠山好雄, 下村講一郎, 東 克己*, 鎌田博*: 培養薬用植物体を用いた遺伝子発現に関する研究 (1) タンジン (*Salvia miltiorrhiza*) の順化過程に発現する遺伝子

日本生薬学会第46回年会, 大阪 (1999.9.18)

*筑波大学

八木 晟*, 佐藤由美子*, 三谷春美*, 福永将仁*, 下村講一郎: 茎頂培養アロエベラとアロエ種系統比較

日本生薬学会第46回年会, 大阪 (1999.9.18)

*福山大学

中根孝久, 吉松嘉代, 下村講一郎, 関田節子, 佐竹元吉: けしがら濃縮物 (CPS) のモルヒネ含有量について

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

Da-Woon Jung^{*1}, Kaori Touno^{*2}, Yoshio Hatakeyama, Kayo Yoshimatsu and Koichiro Shimomura: Cryopreservation of *Hyoscyamus niger* adventitious roots

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

^{*1}Chonnam National University

^{*2}千葉大学

東野 薫^{*1}, 原田久也^{*1}, 吉松嘉代, 畠山好雄, 矢崎一史^{*2}, 下村講一郎: 培養ムラサキシユートにおけるシコニン誘導体形成-シコニン誘導体含量に対する培養容器の影響-

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

^{*1}千葉大学

^{*2}京都大学

佐藤由美子*, 三谷春美*, 福長将人*, 八木 晟*, 下村講一郎: アロエベラおよびアロエ種系統比較

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

*福山大学

南 基泰*, 藤原弘幸*, 緒方達志*, 高原利雄*, 下村講一郎: カンキツ果実中で発現している遺伝子の解析

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

*果樹試験場

浅田善久^{*1}, 李 巍^{*1}, 寺田智宏^{*1}, 吉川孝文^{*1}, 佐々木和生^{*2}, 林 達男^{*3}, 下村講一郎: Forskolin の生合成

日本薬学会第120年会, 岐阜 (2000.3.29)

^{*1}北里大学

^{*2}青森大学

^{*3}(株)ライオン

吉田尚利^{*1}, 高上馬希重, 山田和也, 栗原孝吾, 飯田 修, 熊谷健夫, 畠山好雄, 神田博史^{*2}, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉: トウキの基原植物の研究 (3)

日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

^{*1}北海道大学薬学部

^{*2}広島大学医学部

高上馬希重, 山田和也, 栗原孝吾, 飯田 修, 熊谷健夫, 畠山好雄, 吉田尚利^{*1}, 神田博史^{*2}, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉: トウキの基原植物の研究 (4)

日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

^{*1}北海道大学薬学部

^{*2}広島大学医学部

高橋 勉^{*1}, 豊里友良^{*1}, 有本恵子^{*2}, 永井吉澄^{*2}, 香月茂樹, 高上馬希重, 飯田 修, 佐竹元吉, 新城光雄^{*3}, 神田博史^{*4}: 沖縄で栽培された *Cinnamomum cassia* の品質

日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

^{*1}(株)仲善

^{*2}三國(株)

^{*3}沖縄県福祉保健部

^{*4}広島大学医学部

飯田 修, 山田和也, 栗原孝吾, 高上馬希重, 渡辺多加子*, 遠山美知子*: センナの国内栽培について I. チンネベリーセンナにおける1年生植物の生長と成分

日本生薬学会第46回年会 (1999.9)

*国民生活センター

高上馬希重, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉, 牧野由紀子*: 大麻 *Cannabis sativa* L. の DNA 解析

日本 DNA 多型学会第8回学術集会 (1999.12)

*関東信越地区麻薬取締官事務所

高上馬希重, 山田和也, 栗原孝吾, 関田節子, 佐竹元吉, 津村義彦*, 飯田 修: 薬用・香料植物シナモンの葉緑体 DNA 塩基配列に基づく種間変異

日本育種学会第97回講演会 (2000.4)

*森林総合研究所

横倉胤夫*, 有本恵子*, 岩田善子*, 黄 啓榮*, 酒井英二, 嶋田康男*, 高井善孝*, 高木 昭*, 谷山登志男*, 中島健一*, 東 昭夫*, 久田陽一*, 俣野 豊*, 守安正恭*, 山本 豊*: 生薬品質集談会報告第30報 トウガラシについて【辛味成分カプサイシンの測定を中心に検討】

第28回生薬分析シンポジウム (1999.12)

*生薬品質集談会

酒井英二, 有本恵子*, 岩田善子*, 黄 啓榮*, 嶋田康男*, 高井善孝*, 高木 昭*, 谷山登志男*, 中島健一*, 東昭夫*, 久田陽一*, 俣野 豊*, 守安正恭*, 山本 豊*, 横倉胤夫*: 栽培したトウガラシ数品種の capsaicin 含量と形状

日本薬学会第120年会 (2000.3)

*生薬品質集談会

香月茂樹: 今、話題のウコンとその仲間 薬用植物シンポジウム・広島 (1999.5)

香月茂樹：インドジャボクの栽培に関する研究
第9回薬用植物栽培技術フォーラム(1999.7)

香月茂樹：日本で育つ南国地方のハーブ種子島の薬用植物—
第2回薬用植物シンポジウム・相模原(1999.10)

香月茂樹，嶋田康男^{*1}，神田博史^{*2}：種子島栽培ビャクダン中のサンタロールの分布について
日本薬学会第120年会(2000.3)

^{*1}三星製薬(株)

^{*2}広島大学医学部

森永 紀^{*1}，田中宏幸^{*1}，正山征洋^{*1}，香月茂樹，Sorasak Lhieochaiphant^{*2}，吉田尚利^{*3}：抗 senoside A モノクローナル抗体を用いた ELISA, Western Blotting の確立とその応用
日本薬学会第120年会(2000.3)

^{*1}九州大学薬学部

^{*2}チェンマイ大学薬学部

^{*3}北海道大学薬学部